



年 報

'21 Annual Report of Nagakute Cultural Center

—令和3年度長久手市文化の家—

はじめに

日頃は、長久手市の文化政策、長久手市文化の家の運営にご理解、ご支援をいただき心から感謝申し上げます。

令和2年から猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、文化芸術関係者、文化施設に多大な影響を及ぼしてきました。それでも、“文化の灯を消さない”ために新型コロナウイルス感染症対策を講じながら令和3年度が始まりました。

しかし、世論は、コロナ禍における社会反応に敏感で、会館の利用者、公演を鑑賞する観客、パブリックスペースでくつろぐ来館者など、以前のように戻るのもう少し先のことと実感し、貸し施設における新型コロナウイルス感染症対策の緩和、客席定数の緩和など、都度、変化する状況を勘案しつつ、施設管理、事業推進を館内職員で共有し、会館運営を進めてきました。その成果もあり令和3年度末には、来館者318,911人、事業数77本、事業参加者およそ22,000人まで復調させることができました。これは一重に、市民、利用者、参加者、芸術創造者の文化芸術に対するご理解があつてのことと思います。

また、開館した平成10年度から令和3年度までに10,000,000人超の来館者、2,000を超えるの自主事業や、ホール、各種貸し空間の平均80%超の稼働率など、市民の皆さまに愛される会館に成長することができました。

令和5年度は、開館から25周年の節目の年であります。先に述べた数多くの自主事業を後世に残すため、アーカイヴ事業を始めたところであります。「温故知新」の考えを大切に、さらに信頼される会館運営を職員一同、目指していきます。

長久手市文化の家館長
 靱山勝人

年 報

'21 Annual Report of Nagakute Cultural Center

— 令和3年度長久手市文化の家 —

2022 長久手市

目 次

特集	コロナ禍における文化の家運営について	1
1	施設利用に関する運営状況	1
2	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中止・延期事業一覧	3
1	自主事業実施報告	4
1	舞台芸術等	5
2	企画展示	37
3	普及啓発事業	42
4	シネマ倶楽部事業	50
5	アートスクール	53
2	長久手市文化の家に関する情報・データ	62
1	長久手市文化の家について	62
2	組織体制	64
3	来館者数	65
4	文化の家施設稼働状況	66
5	決算状況	67
6	視察等対応	70
7	職員による諸活動	71
8	広報・情報関連報告	73

2020年2月から流行した新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国や県の要請にしたがって、長久手市文化の家においても、休館、利用制限、自主事業の中止等の対応を取りました。

1 施設利用に関する運営状況

対応日	対応内容
2020年2月20日 ～ 2020年3月31日	予約受付の停止
2020年2月28日 ～ 2020年3月31日	自主事業の中止 新型コロナウイルス感染症拡大防止を理由とした自主事業、貸館の取消し。全額還付対応
2020年3月4日 ～	フリースペース閉鎖 【1F】ガレリア、アトリウム、北ガレリア、東ガレリア 【2F】アートコリドール、情報ラウンジ
2020年3月6日 ～	手指消毒、検温の徹底
2020年3月12日 ～	毎時間5～10分換気
2020年3月14日 ～ 2020年3月22日	換気的面から窓のない施設の閉鎖 音楽スタジオ、食文化室、会議室4、会議室5
2020年3月23日 ～ 2020年5月31日	休館
2020年4月10日 ～ 2020年5月31日	(緊急事態宣言)
2020年6月2日 ～	利用時間、利用人数の制限を設け利用再開 開館時間：午前9時から午後8時まで 窓口受付時間：午前9時から午後7時まで アトリウム利用時間：午前9時から午後5時まで (利用人数制限を設け、講義室1、講義室2、多目的室、食文化室、美術室、和室1、2の利用再開) ホール利用時間：午前9時から午後8時まで ただし、森のホール又は風のホールの利用がある場合に限り、午後10時まで
2020年6月6日	エアロゾル実験実施
2020年7月10日 ～	音楽スタジオ、音楽室、暗室以外のアトリウム施設の利用再開
2020年8月6日 ～ 2020年8月24日	(愛知県緊急事態宣言)
2020年9月15日 ～ 2020年10月12日	利用人数制限の緩和

2021年1月14日	～	2021年2月7日	(愛知県緊急事態宣言) 開館時間：午前9時から午後8時まで 20時まで利用の料金設定
2021年3月1日	～	2021年3月21日	(愛知県厳重警戒措置実施)
2021年4月5日	～		利用人数制限の緩和 アトリビングの共有備品利用開始
2021年4月20日	～	2021年5月11日	(愛知県まん延防止等重点措置)
2021年5月21日	～	2021年5月31日	(愛知県緊急事態宣言)
2021年5月28日	～	2021年6月20日	(愛知県緊急事態宣言)
2021年6月15日	～	2021年6月29日	アトリビング施設及びホール客席抗菌コーティング施工
2021年6月21日	～	2021年7月11日	(愛知県まん延防止等重点措置)
2021年7月12日	～	2021年8月26日	(愛知県厳重警戒措置)
2021年8月27日	～	2021年9月30日	(愛知県緊急事態宣言)
2021年10月1日	～	2021年10月17日	(愛知県厳重警戒措置)
2021年10月18日	～		利用制限緩和 ・利用時間は22時まで(通常どおり) ・ホール公演は、客席で大声を発しない場合は、収容定員100%での実施を可とした。 ・食文化室での調理可 ・情報ラウンジ、東ラウンジの開放(飲食不可)
2021年11月1日	～		利用制限緩和 ・アトリビング諸室の定員制限を解除
2021年11月9日			舞台抗菌コーティング施工
2022年1月21日	～	2022年2月13日	(愛知県まん延防止等重点措置)

2 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中止・延期事業一覧

2019年(令和元年)度					
No.	事業予定日	事業名	対応	公表日	延期日
1	2020年2月29日	創作歌舞伎 牛若丸	延期	2020年2月27日	2021年11月27日
2	2020年3月4日	その場小説 いしいしんじ×大友良英	中止	2020年2月27日	
3	2020年3月7日	創奏	中止	2020年2月27日	
4	2020年3月8日	ワートルロー音楽祭	延期	2020年2月27日	延期日未定
5	2020年3月12日	シネマの楽しみ	中止	2020年2月27日	2020年11月より再開
6	2020年3月14日	戯曲セミナー優秀短編戯曲上演会	中止	2020年2月27日	
7	2020年3月15日	アートスクール発表会	中止	2020年2月27日	
8	2020年3月20日	シネマで逢いましょう「ワンダー 君は太陽」	延期	2020年2月27日	2021年8月21日
9	2020年3月21日、22日	座☆NAGAKUTE 第32回公演「アトムへの伝言」	延期	2020年2月27日	2021年3月20日、21日
10	2020年3月27日	午後の佇み「サクソとピアノで甦るあの日、あの時」	延期	2020年2月27日	2020年8月23日
11	2020年4月4日	クーテシガーナキッズダンス隊 6期生発表会	延期	2020年3月26日	2020年8月30日
2020年(令和2年)度					
No.	事業予定日	事業名	対応	公表日	延期日
12	2020年4月11日	はてしない物語 関連ワークショップ	延期	2020年3月26日	2021年4月18日
13	2020年4月15日～23日	愛と知のちからパートXIV横井礼以展	中止	2020年3月26日	
14	2020年4月26日	長久手わくわく歌舞伎トーク	延期	2020年3月26日	2021年10月23日
15	2020年5月14日	小森邦彦&ストラスブルパーカッショングループ2020	中止	2020年3月26日	
16	2020年5月16日	人形劇団クラルテ はてしない物語	延期	2020年3月26日	2021年5月22日
17	2020年5月22日、6月5日、 6月19日、7月10日、7月17日	対話型鑑賞ワークショップ	中止	2020年3月26日	
18	2020年5月28日	午後の佇み「ロン・メイヤー ピアノ弾き語り」	延期	2020年3月26日	2020年10月16日
19	2020年8月10日	ホール見学SHOW	延期	2020年8月6日	2020年10月24日
20	2020年9月2日～5日	国際マリンバフェスティバル	延期	未公表	2022年8月26日～28日
21	2020年10月1日～4日	名演シリーズ20 ダヴィデ・モンティ	中止	未公表	
22	2020年11月8日	長久手フィルハーモニー管弦楽団 第30回定期演奏会	中止	未公表	
23	2021年3月27日	ニューセンチュリーコーラスNagakute	中止	未公表	
2021年(令和3年)度					
No.	事業予定日	事業名	対応	公表日	延期日
24	2022年2月5日、6日	劇王2022	中止	2022年2月5日	
25	2022年3月19日、20日	座☆NAGAKUTE 第33回公演「モモ」	中止	2022年3月19日	

1

自主事業実施報告

■ 事業数・公演数・入場者（参加者）数

	事業数	公演数	入場者（参加者）数
舞台芸術等	32	37	6,780
企画展示	5	—	12,029
普及啓発事業	9	—	約1,950
シネマの楽しみ	12	24	840
アートスクール	12	204 ※のべ開講日数	129
ワークショップ等	7	8	250

■ 補助金・助成金採択事業

①令和3年度文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

事業名	報告書掲載ページ
午後の佇み①美しきアイルランド音楽	6
おんぱく 2021～ジャズは祭りだ！ 渋さ知らずオーケストラハイブリッドライブ	11
午後の佇み特別編バロック音楽でふらっと時間旅行～爽涼の午後へようこそ	12
朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ第2弾 おじいさんのらんぷ	15
創造スタッフ劇場 少女とカラクリ	20
午後の佇み③歌曲で紡ぐ春への祈り2	29
石川貴憲サクソフォンリサイタル	33
朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ第2弾 注文の多い料理店	34
創造スタッフ小西祐矢個展「交差する人生」	38
美術系創造スタッフ2人展「創造しいしごと」	41
エデュケーション・プログラム 中学校であーと	43
エデュケーション・プログラム 中学校であーと	45～47
福祉事業（ふくしであーと）	48
児童館等音楽デリバリー事業	49

②瀬戸信用金庫地域振興協力基金助成

事業名	報告書掲載ページ
第117回公演 創立70周年記念公演 人形劇団クラルテ「はてしない物語」	7
おんぱく 2021～ジャズは祭りだ！ 渋さ知らずオーケストラハイブリッドライブ	11
前進座 創作歌舞伎『牛若丸』	21

1 舞台芸術等

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	クーテシガーナキッズダンス隊 第7期生発表会オンステージ☆		
日時	令和3年4月3日（土）	11時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	普及・啓発事業（提携）		
出演者	クーテシガーナキッズダンス隊、リトル隊、パパママ隊、峯いずみ（講師）		
公演内容	クーテシガーナ、The Nicest Kids In Town、HAPPY HAPPY、ギンギラ銀河、アイデア、It Don't Mean a Thing、愛にできることはまだあるかい、ONE		
入場者数	126	席設定 130	入場率 96.9%
チケット料金	無料		
支出			提携事業のため支出なし
		計	0円
収入			提携事業のため収入なし
		計	0円

アンケート結果 とても感動した！素晴らしい～ありがとう！（市内、40代女性）
コロナ禍でも素敵な発表会を開催できて感謝。とても楽しい時間を過ごせた。（市外、30代女性）
今回は特に進歩を感じた。全員で踊るダンスはストールもあって良かった。（市内、30代女性）

担当者コメント 平成29年度にクーテシガーナキッズダンス隊を結成し、令和2年度に独立。今回は2回目の発表会となった。コロナ禍で十分な練習ができず、完璧に披露できるか、不安な日々が続いていたと思うが、鑑賞者評価にもあるように、「愛にできることはまだあるかい」で全員が一つになって最高のパフォーマンスができた。キッズ隊指導者である峯氏が目指している「一つの団体ではなく『家族』にする」という目標に一步近づいた。キッズ隊の活動は、今後、コロナ禍でどのように行っていくかを模索中であるが、今後も、福祉事業（福祉施設へのアウトリーチ等）を行い、活動の目的の一つである、クーテシガーナを広めていくとともに、「あたたかい家族」を形成してほしい。



公演名 午後の佇み①美しきアイルランド音楽

日時 令和3年5月13日（木） 14時00分 開演

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業

出演者 小松大（フィドル・ヴィオラ）、山本哲也（ギター）

公演内容 Song for Silhouettes（小松大）、フィッシャーマンズ・リルト（アイルランド伝統曲）、ケリージグ・セット（アイルランド伝統曲）、希望の島、悲しみの島（アイルランド伝統曲）、トミー・ピープルズセット（トミー・ピープルズ）、ダニーボーイ（アイルランド伝統曲）、ラストポイント（ピエール・ベアベンスーザン）、アールズ・チェアセット（アイルランド伝統曲）、If ever you were mine（モーリス・レノン）、プランクシティ・デイビス（トーマス・コネラン）、ベア・アイルランド・セット（アイルランド伝統曲）

入場者数 131 席設定 150 入場率 87.3%

チケット
1,000円（前売）
1,000円（当日）

支出	【委託費】	90,000円
	【印刷製本費】	チラシ印刷費 15,510円
	【使用料】	著作権使用料 3,388円
	計	108,898円

収入	【入場料】	133,000円
	計	133,000円

回収率 121.0%

ほとんど初めて聴く曲なのになぜか懐かしさを感じた。泣けてくる曲もあり、心に染みる演奏だった。お二人のかけあいが楽しそう。（市内、50代女性）

アンケート結果 コロナ禍の中の開催ありがとう。久々に心の癒やしになった。（市内、男性）

コロナ禍でも心の栄養は必要。文化の家ではその事を大事にして頂けて嬉しいかぎり！演奏者からステージ（生活）を奪わないのも大事だ。（市外、70代女性）

成果

コロナ禍で緊急事態宣言下の中、感染症対策をしながら実施したイベント。平日の午後開催で、客層の年代も高めになるため集客が心配されたが、新聞掲載の効果もあり、まずまずの入りとなった。アンケートにも「来て良かった」「久しぶりの生演奏だった」などの声が多く聞かれた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	第117回公演 創立70周年記念公演 人形劇団クラルテ「はてしない物語」		
日時	令和3年5月22日（土）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	永島梨枝子、西島加寿子、福永朋子、鶴巻靖子、藤田光平、梶川唱太、奥洞昇、宮本敦、齋藤裕子、竹内佑子、日高拍、徳永颯希 (共演) スペシャルダンサーズ：内田結花、新家綾		
公演内容	はてしない物語		
入場者数	278	席設定 350	入場率 79.4%
チケット	フレンズ2,000円、一般2,300円、高校生以下1,000円（前売） フレンズ・一般2,500円、高校生以下1,300円（当日）		
支出	【委託費】		1,790,129円
		公演チラシ9,000部	15,709円
		チケットぴあ委託費	4,117円
		計	1,809,955円
収入	【入場料】		527,000円
		計	527,000円
回収率			29.1%

アンケート結果 コロナ禍の中、観れなくなるだろうと諦め半分でしたので観れて良かったし、子どもに観劇の機会を持たせてあげたので良かった。（市内、40代女性）
特に後半にメッセージ性があった良かった。人は力を持ってしまったら変わってしまうというのが残酷だけど、何か現実味があってファンタジーだけど現実とかけ離れすぎてないのがおもしろかった。（市外、10代女性）

成果 300枚を超える前売販売等があったが、入場者は278人とどまった。人々の新型コロナウイルス感染症に対する警戒心の高まりが影響を及ぼしたと推測される。この劇を通じて、自分自身を登場人物に置き換えることで、親からの自立や、自分自身と向き合う時間の大切さを考えるきっかけを作ることができた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	Memorial Composers①ストラヴィンスキー 春の祭典ピアノ2台版		
日時	令和3年6月17日（木）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	菅原拓馬（ピアノ）、丸尾祐嗣（ピアノ）		
公演内容	春の祭典（2台ピアノ版）（ストラヴィンスキー）、ペトルーシュカからの3つの断章（ストラヴィンスキー）、ピアノ・ラグ・ミュージック（ストラヴィンスキー）		
入場者数	98	席設定 94	入場率 104.3%
チケット	フレンズ1,800円、一般2,000円（前売） フレンズ・一般2,000円（当日）		
支出	【委託費】		110,000円
	【使用料】	著作権使用料	5,225円
	【印刷製本費】	チラシ印刷費	13,508円
	【役務費】	ピアノ調律費	45,100円
	計		173,833円
収入	【入場料】		181,000円
	計		181,000円
回収率			104.1%

なんであんなに立体的に迫ってくるのか、どこを取っても飽きるということのない演奏。心がわくわくと動かされた。MCも自分の言葉で喋っている感じが分かり易かった。（市外、40代女性）

アンケート結果 野性味あふれるリズムと演奏をしっかりと楽しむことが出来た。ストラヴィンスキーの偉大さを感じるひと時を過ごせて楽しかった。（市外、70代男性）
すばらしい演奏だった。やはり生の演奏は感動的だ。お二人の人柄も人を包みこむような優しさにあふれ、とても共感もてるものだった。（市内、70代女性）

成果 ストラヴィンスキー没後50年を記念して開催した公演。プログラムを全てストラヴィンスキー作品で構成し、メインの「春の祭典」は、ストラヴィンスキー自身の編曲作品にこだわり2台ピアノで表現した。コロナ禍で緊急事態宣言の中、夜公演（午後7時開演）にもかかわらず、ほぼ満席となった。事業係職員のみでライブ動画配信を試み、オンラインでのアンケートも実施し、ほとんどの視聴者から満足という好評を得た。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	夜の実験室～ジャズとクラシックのあいだ		
日 時	令和3年7月8日（木）	19時00分 開演	
場 所	長久手市文化の家 情報ラウンジ		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	平光真彌（ヴァイオリン）、平光広太郎（ピアノ）		
公演内容	亡き王女のバヴァーヌ（ラヴェル）、ガヴオット（ゴセック）、チャルダッシュ（モンティ）、スペイン（チックコリア）、東風（坂本龍一）		
入場者数	46	席設定	46 入場率 100.0%
支 出	【委託費】		40,000円
	計		40,000円
収 入	【入場料】 無料公演のため		0円
	計		0円
回 収 率	0.0%		
アンケート結果	<p>仕事終わりに立ちよれる気軽な感じも嬉しい。（市外、40代女性）</p> <p>アドリブ出来ないと言いつつ、クラシックでもアレンジしている部分が魅力的だった。（市外、60代女性）</p> <p>ガヴオットで、クラシック奏者とjazz奏者の方で曲の流れの感じ方が全然ちがうのがみえて楽しかった。（市外、20代女性）</p>		
成 果	<p>感染症対策のため閉鎖されていた情報ラウンジの開放に向けた試験公演。文化の家自主事業に多数出演実績のあるジャズ奏者とクラシック奏者が出演。異なるジャンルで活躍する二人が、まさにジャズとクラシックのあいだとなる音楽を生み出す新しい企画となった。同じ曲の解釈の違いが表出される場面もあり、来場者の興味を引いていた。設備面では、換気対策が一般開放までの課題となった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	フレンズ企画Part42 女声四声とピアノによる声楽アンサンブル演奏会 —アンサンブル・クノスペン—		
日時	令和3年7月11日（日）	15時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	市民参画事業（提携）		
出演者	アンサンブル・クノスペン 伊藤恵倫、松原美保（ソプラノ）、藤田ゆみ、加藤久子（アルト）、森泰子（ピアノ）		
公演内容	Stand alone、ホームソングメドレー・アメリカ編より～ケンタッキーの我が家・夢路より・峠の我が家、Furusato (Home Town)、椰子の実、浜辺の歌、《九ちゃんが歌ったうた》より～上を向いて歩こう・明日があるさ・ともだち・見上げてごらん夜の星を・心の瞳、ローレライ、カッチーニのAve Maria、Cantate komino in B♭- Psalm96		
入場者数	114	席設定 136	入場率 83.8%
チケット	1,000円（前売） 1,000円（当日）		
支出	提携事業のため支出なし 計 0円		
収入	提携事業のため収入なし 計 0円		
回収率	—		
アンケート結果	とても良かった。自分も「心の瞳」を練習しているが、また別の「心の瞳」に聞き入った。（70代女性） 親しみやすく、楽しいひとときだった。笑顔ときれいな声がよかった。（70代女性） 久しぶりのコンサートでもあり、知っている曲も多く、楽しかった。（70代女性）		
担当者コメント	日曜午後、平日午後、土曜夕方と、公演日時の試行錯誤を行っているフレンズ企画であるが、今回は日曜午後の開催とした。昨年の本企画は感染症対策で中止したため、久しぶりのホールでのフレンズ自主企画となった。当日は、準備や片付けなどの裏方や、ホワイエまわりなどに従事するフレンズスタッフの人数も最小限として運営を行った。例年12月にフレンズ企画で開催しているクリスマス・コンサートを、昨年は感染症対策の研修を兼ねたコンサートとして規模を縮小して開催したが、その成果も現れていたようである。なお、恒例の、公演後の出演者とフレンズスタッフとの交流会は中止とした。		



公演名	おんぱく2021～ジャズは祭りだ！ 渋さ知らずオーケストラハイブリッドライブ		
日時	令和3年8月1日（日）	15時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	渋さ知らずオーケストラ、文化の家創造スタッフ（弓立翔哉（パーカッション）、小田智之（ピアノ、作曲）、大脇ぼんだ（演劇）、林友里菜（ダンス）、小林大地（美術）、小西祐矢（美術）） 文化の家フランチャイズアーティスト（石川貴憲（サクソ）） オブジェ等美術作品制作：橋寛憲（造形作家）		
公演内容	森のホールでの客席50%での公演とYouTubeによる無料生配信・無料アーカイブ配信 （演奏曲：本多工務店のテーマほか） プレイベントとしてイオンモール長久手での子ども向け楽器制作ワークショップと制作した楽器を使用するミニ演奏会（7月22日実施）		
入場者数	221	席設定 236	入場率 93.6%
チケット	大人1,500円、子ども500円（前売）		
支出	【委託費】	2,660,000円	
	【消耗品】	6,600円	
	【ピアノ調律費】	44,000円	
	【印刷費】	360,449円	
	【報償費】	342,000円	
	【広告費】	224,400円	
	計	3,637,449円	
収入	【入場料】	293,000円	
	計	293,000円	
回収率	11.0%		
アンケート結果	5歳の息子が手拍子やマラカスで楽しめてよかった。スタッフの対応も親切だった。（市外、40代女性） 楽しかった！おんぱく続けてください！応援します！（市内、50代男性） ライブは最高！ただ前回のようにプレイベントがいっぱいあるともっと良い。（市内、30代女性）		
担当者コメント	<p>コロナ禍での開催となり、おんぱくの醍醐味であるほとんどのWSやまちなかコンサートが中止となった。オンライン生配信と事前のコンテンツ配信を取り入れたことで、これまでにない新しい形のおんぱくを開催することができた。おんぱくという大きな行事で一人の感染者も出さずことなく開催できたことは本当によかった。来場者や配信視聴者から、感動や喜びの声が多くあり、コロナ禍においても文化や芸術を求める人たちが多くいることを再認識した。</p>		



公演名	午後の佇み特別編 バロック音楽でふらっと時間旅行～爽涼の午後へようこそ		
日時	令和3年8月28日（土）	16時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	森川郁子（ソプラノ）、高橋弘治（バロック・チェロ）、瀧井レオナルド（テオルボ）、上羽剛史（チェンバロ）		
公演内容	カンタータ「ルクレツィア」HWV.145（ヘンデル）、「そんな風に思うなんて」（メーラ）、オペラ「リナルド」より「私を泣かせてください」（ヘンデル）、チェロ・ソナタ第4番変ロ長調 RV.45（ヴィヴァルディ）		
入場者数	180	席設定 200	入場率 90.0%
チケット	1,000円（前売） 1,000円（当日）		
支出	【委託費】		300,000円
	【印刷製本費】	チラシ印刷費	14,097円
	計		314,097円
収入	【入場料】		192,000円
	計		192,000円
回収率	64.0%		

アンケート結果 最後のルクレツィアは初めて聴いた。作品がドラマティックで、4人でこれだけのドラマをみせてもらい、感動した。（市外、60代女性）
会場規模にマッチした企画だった。（市外、70代男性）
コロナ渦でも予定通り開催してくれてありがとう。歌詞や楽器の説明をスクリーンに投影するなど、随所に配慮がありとてもよかった。（市外、60代女性）

担当者コメント 平日の昼間に気軽に来られる午後の佇みシリーズ。今回は特別編として、土曜日夕方に開催した。愛知県在住バロックチェロ奏者高橋弘治を中心としたアンサンブルが出演。イタリアのバロック音楽を演奏した。手軽な価格で本格的な演奏が楽しめることもあり、発売開始直後からチケット販売状況はよかった。演奏だけではなく、楽曲や楽器について奏者自ら解説したり、歌詞の日本語訳を投影するなど、親しみやすい工夫が施されていた。来場者からは、緊急事態宣言下で開催できたこと、質の高い公演への感動の声が聞かれた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	2021ジョイントフェスティバル「らふいゆれふいゆ」		
日時	令和3年9月4日（土）	14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（子ども）		
出演者	シモシュ、LONTO、Chang		
公演内容	らふいゆれふいゆ		
入場者数	159	席設定 173	入場率 91.9%
チケット	フレンズ会員・一般2,000円、小・中学生1,000円、未就学児500円※3歳以下ひざ上鑑賞無料（前売） フレンズ会員・一般2,000円、小・中学生1,000円、未就学児500円※3歳以下ひざ上鑑賞無料（当日）		
支出	【委託費】	公演委託費	604,006円
	【印刷製本費】	チラシ印刷費	15,643円
	計		619,649円
収入	【入場料】		222,500円
	計		222,500円
回収率			36.8%

アンケート結果 たたみ席などあり、よかった。小さいお子さんがリラックスして観ることができる。（市内、30代女性）
コミカルなLONTO、シュールなChang、それに巻き込まれるシモシュの組み合わせが最高！笑って、技にうなって、最後の演奏では楽しさと共に涙もなぜか出てきました。この状況だからこそ心に沁みました。心のこもった舞台をありがとう！（市外、40代男性）

担当者
コメント

2021ジョイントフェスティバル協議会で選定した作品。パントマイムと音楽とで個性のすばらしさを表現するパフォーマンス。はじめはよそよそしい三人が最終的に仲良くなるという話はよくあるが、この作品は、互いに個性を認め合い、仲良くなっていくプロセスも盛り込まれていた。パントマイムと音楽だけで伝えるのは容易ではないが、出演者の技術の高さが最後には感動を呼び起こした。コロナ禍で人と人のふれあいがなかなか許されない今だからこそ、今後も互いに認め合うことの大切さを伝えられるような演劇を提供していきたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 MemorialComposers②シェーンベルク《浄夜》

日時 令和3年9月8日（水） 19時00分 開演

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業

出演者 平光 真彌（ヴァイオリン）、久米 浩介（ヴァイオリン）、新谷 歌（ヴィオラ）、橋本 歩（ヴィオラ）、佐古 健一（チェロ）、波多 和馬（チェロ）

公演内容 浄夜（弦楽六重奏版）（シェーンベルク）、弦楽四重奏曲 ホ短調（ツェムリンスキー）、弦楽五重奏曲〜アダージョ（ブルックナー）

入場者数 64 席設定 200 入場率 32.0%

チケット 一般2,000円、フレンズ会員1,800円（前売）
一般2,000円（当日）

支 出	【委託費】	378,000円
	印刷製本費（チラシ印刷費）	21,293円
	計	399,293円

収 入	【入場料】	127,800円
	計	127,800円

回収率 33.8%

「浄夜」がドラマティックで美しく、心が「浄化」されるようだった。（市外、70代女性）

アンケート結果 身近に室内楽を感じられ、よい企画だった。（市外、70代男性）

初めて聴く曲ばかりだったが、演奏前に説明があり、勉強になった。（市外、50代女性）

成 果 2021年にアニバーサリーを迎える作曲家にスポットをあてた企画第2弾。没後70年を迎えたシェーンベルク「浄夜」をメイン曲とした。出演は、ヴァイオリン奏者平光真彌氏を始めとする地元の弦楽器奏者6人。演奏機会が少ない楽曲であったこともあり、来場者からの評価も高かった。しかし、有名な作品・作曲家ではないこと、緊急事態宣言発出中ということが重なり、チケットの売れ行きはよくなかった。コアな作品を取り上げる際の広報について課題が残る公演となった。



公演名	朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ第2弾 おじいさんのらんぷ		
日時	令和3年9月23日（木） ①11時00分開演、②14時00分開演		
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	大脇ばんだ（朗読/演劇系創造スタッフ）、弓立翔哉（打楽器/音楽系創造スタッフ）、小田智之（作曲・ピアノ/音楽系創造スタッフ）		
公演内容	新美南吉「おじいさんのらんぷ」		
入場者数	79	席設定 80	入場率 98.8%
チケット	500円（前売） 500円（当日）		
支出	【印刷製本費】	チラシ印刷費	16,102円
	計		16,102円
収入	【入場料】		39,500円
	計		39,500円
回収率			245.3%


朗読、音楽が迫力があって目をつぶると情景が浮かび上がり物語の世界へ入っていった。涙がでた。（市内、30代女性）

アンケート結果 すごくお話に音楽が合っていて、絵がなくても想像がしやすかった。（市内、9歳以下女性）
小さい子には声と音だけでは集中力が持たなかった。お話の内容が少し難しかったので、大人や中高生向きだと思う。（市内、30代女性）

担当者コメント 昨年からはじめた「朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ」の第2弾。今回は愛知県半田市出身の児童文学作家の代表作「ゼロ弾きのゴーシュ」をお届けした。2回とも満席となり、親子連れから高齢者まで幅広い年齢層の方に来ていただけた。創造スタッフの音楽系と演劇系のコラボとなり、他ジャンルとのコラボは彼らにとってもいい経験となった。反省点として、対象年齢4歳以上としていたが60分間の朗読公演は未就学児には少し難しく、小中学生を対象として広報していくべきだった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	室内楽の楽しみ		
日時	令和3年9月26日（日）	16時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業(提携)		
出演者	伊藤万佑子(Pf.)、安嶋美裕(Fl.)、国崎祐未(Ob.)、圖子怜央奈(Cl.)、櫻井凜央(Pf.)、前田雄輝(Vn.)、高間健悟(Cl.)、猪子奈津子(Vn.)、園部真秀(Va.)、安田果穂(Vc.)、山口翔也(Pf.)、和田さくら(Tp.)、伊藤歩美(Hr.)、高橋喜仁(Tb.)、山梨晴哉(Pf.)、西浦千陽(Fl.)、山本奈緒(Cl.)、河内みく(Pf.)、井上春花(Vn.)、若林めぐみ(Va.)、亀滝和音(Vc.)、大田梨湖(Pf.)、飯田桐乃(Vn.)、貫名紗詠(Vc.)		
公演内容	デンマークとロシア民謡によるカプリス 作品79 (C.サン=サーンス)、ヴァイオリン、クラリネット、ピアノのための組曲 作品157b (D.ミヨー)、幻想曲 (オーボエと弦楽トリオのための) 作品2 (B.ブリテン)、レクリエーションより 第1.3楽章 (P.ガベイ)、ピアノ五重奏曲第2番イ長調 作品81より第1楽章 (A.ドヴォルザーク)、ピアノ三重奏イ短調より 第3.4楽章 (M.ラヴェル)		
入場者数	80	席設定 90	入場率 88.9%
チケット	一般・フレンズ1,000円、学生500円 (前売) 一般・フレンズ1,000円、学生500円 (当日)		
支出	【委託費】 計		提携事業のため支出なし 0円
収入	【入場料】 計		提携事業のため収入なし 0円
回収率	—		
アンケート結果	<p>若いエネルギーに溢れた人たちの熱演に感嘆した。馴染みの曲目はあまりなかったが、個性のある演奏で楽しませてもらった。(市外、90代女性)</p> <p>コロナでどこにも出かけられない事ばかりで気持ちが落ち込んでいたが若い方の素晴らしい演奏を聴くことが出来、久しぶりに心晴れやかになった。(男性)</p> <p>楽器の組み合わせが何パターンもあり、それぞれのハーモニーを楽しむことができた。(市内、70代男性)</p>		
成果	<p>学内オーディションによって選抜された室内楽グループによる演奏会。人気の事業で、昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となったが、二年ぶりに定員50%の客席設定で開催。3回のミーティングを文化の家事務局と開催し、奏者自らコンサートの運営、新聞取材のやり方などを学ぶ機会にもなった。今年は、メジャーな演奏曲がなかったが、即日完売となった。より多くのお客様に見てもらうため、文化の家スタッフが撮影した動画を、後日配信することとなった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	2021 ジョイントフェスティバル「おじさんと大きな木」		
日時	令和3年10月17日（日）	11時00分開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（子ども）		
出演者	劇団なんじゃもんじゃ		
公演内容	おじさんと大きな木		
入場者数	111	席設定 130	入場率 85.4%
チケット	フレンズ会員・一般2,000円、小・中学生1,000円、未就学児500円※3歳以下ひざ上鑑賞無料（前売） フレンズ会員・一般2,000円、小・中学生1,000円、未就学児500円※3歳以下ひざ上鑑賞無料（当日）		
支出	【委託費】		123,878円
	チラシ印刷費		20,248円
	計		144,126円
収入	【入場料】		152,000円
	計		152,000円
回収率	105.5%		

子どもが一生懸命に観ていた。小さい子を退屈させない仕掛けがされていて感心した。（市内、40代男性）

アンケート結果 きりかぶのところがすごい。（9歳以下女性）

すごく心の温まるお話だった。このような劇をみる機会が多くあると良いと思う。（市内、40代女性）

担当者
コメント

老舗劇団なんじゃもんじゃによる、子ども向けの作品。アンケートから、子どもは楽しめたのはもちろんのこと、子ども向けではあるが、様々な経験をしてきた大人にとっては、自分にとって本当に大切なものとは何かを再確認できた素晴らしい作品であった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	ムーンライトスウィングオーケストラ ～不滅のグレンミラーサウンド		
日 時	令和3年11月5日（金）	14時00分 開演	
場 所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業(提携)		
出演者	ムーンライトスウィングオーケストラ		
公演内容	インザムード、ムーンライトセレナーデ、茶色の小瓶、真珠の首飾り、シング・シング・シング ほか		
入場者数	149	席設定 150	入場率 96.8%
チケット	2,500円		
支 出	【委託費】	提携事業のため収支なし	
	計	0円	
収 入	【入場料】	提携事業のため収支なし	
	計	0円	
アンケート結果	<p>スウィングジャズの生演奏を聴いた事がなかったのでとても興味深かった。若い演奏家の方もいて、古きの中に新しさも感じた。（10代、住所・性別不明）</p> <p>全曲よかったけれどテネシーワルツは泣けた。（市内、年代・性別不明）</p> <p>若い頃良く聞いた曲ばかりで若がえったような気がした。また聞きたいと思った。（市内、年代・性別不明）</p>		
担当者コメント	<p>昨年度開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期となった公演。ビッグバンド公演は、文化の家では取り上げることが少ないため、選定された。平日開催、懐かしいグレンミラープログラムということもあり、中高年層の来場者が多く、満席に近い人気となった。2部ではヴォーカルも加わり、明るく昔懐かしいサウンドに、当時を思い出した！という声が多く聞かれた。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手フィルハーモニー管弦楽団 第33回定期演奏会		
日時	令和3年11月14日（日）	14時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	長久手フィルハーモニー管弦楽団 指揮：高谷光信		
公演内容	「魔笛」より序曲（モーツアルト）、交響曲第7番ロ短調「未完成」（シューベルト）、交響曲第7番イ長調（ベートーヴェン）		
入場者数	404	席設定 416	入場率 96.2%
チケット	（前売）フレンズ会員700円、一般800円 （当日）一般1,000円		
支出	【委託費】		提携事業のため支出なし
	計		0円
収入	【入場料】		提携事業のため収入なし
	計		0円

とても感動した。休日の昼の一時を楽しく過ごすことができ「音楽の力」で明日の生命力をもらった。（市外、70代男性）

ベートーヴェンの交響曲の中で一番好きな「7番」を生演奏で聴けてとても感動した。コロナ禍が長期化で沈みがちな気持ちを明るく活気づけてくれる曲だと思う。改めて名曲だと思った。（市内、70代男性）

長久手という小都市で33回も、かくも素晴らしいオーケストラを継続し続けるエネルギーに賛美！これからも、このオーケストラの発展を心から応援。（市外、85歳男性）

担当者
コメント

年に2回定期公演を行う長久手フィルハーモニー管弦楽団。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、昨年度は一度も開催できず、2年ぶりの開催となった。練習場所も限られたため、久しぶりのホール公演で、リハーサルでは音の響き方に戸惑う団員の姿も多々見られたが、指揮者の指導もあり本番では熱い演奏が行われた。特にベートーヴェンの交響曲第7番などは、馴染みのある曲だけに、観客も満足しているようであった。



公演名	創造スタッフ劇場 少女とカラクリ		
日時	令和3年11月20日(土)	①11時00分開演	②14時00分開演
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	創造スタッフ 弓立翔哉(パーカッション)、小田智之(ピアノ、作曲)、大脇ばんだ(演劇)、林友里菜(コンテンポラリーダンス)、小林大地(造形・デザイン)、小西祐矢(造形・デザイン)		
公演内容	音楽・演劇・ダンスを合わせた音楽劇 創造スタッフ オリジナル曲、オリジナル台本		
入場者数	332	席設定 400	入場率 81.8%
チケット	(前売) フレンズ会員・一般500円 (当日) フレンズ会員・一般500円		
支出	チラシ印刷費		16,102円
	消耗品費(衣装代)		17,644円
	計		16,102円
収入	入場料		78,000円
	計		78,000円
回収率			484.4%
アンケート結果	コロナ禍であまり出かけられなかったので生の音楽やダンスに触れるよい機会になった。(市内、30代女性) 完成度が高く質の良い公演で、となりの子どもたちが踊っている姿に納得する内容だった。(60代男性) 想像していたよりも何倍も良い舞台で、小さい子供の観劇デビューには申し分ない内容だった。(市内、30代女性)		
担当者コメント	創造スタッフがジャンルを越えて制作する大人気企画「創造スタッフ冬のコンサート」を「創造スタッフ劇場」と名前を変えて通常より1か月早い11月に実施。小西祐矢が原作を書き、小田智之作曲の完全オリジナル曲と林友里菜の振り付けするダンスなど、新しく加わった3人の創造スタッフが活躍した。毎年「0歳から参加OK」を売りにしていたが、今年の内容は少し難しかったため推奨年齢4歳以上として実施。その効果もあって例年より年齢層が上がり、新しい客層にもアプローチできた。コロナ禍で生の舞台を鑑賞する機会が少ない中、子どもたちに良質な舞台を提供する機会となった。		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	あいちオーケストラフェスティバル2021愛知室内オーケストラ		
日時	令和3年11月21日（日）	15時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	愛知室内オーケストラ、指揮：碓山隆一郎、ソリスト：石川貴憲（サクソフォン）		
公演内容	弦楽のためのアダージョ（バーバー）、アルト・サクソフォンと管弦楽のためのバラード（トマジ）、クーブランの墓（ラヴェル）、交響曲第4番変ロ長調作品60（ベートーヴェン）		
入場者数	306	席設定 331	入場率 91.3%
チケット	（前売）1,000円 （当日）1,000円		
支出		【委託費】	提携事業のため支出なし
		計	0円
収入		【入場料】	提携事業のため入場料収入なし
		【運営協力費】	250,000円
		計	250,000円
回収率			0.0%

アンケート結果
作曲家トマジ、初めて聴いた。物語性をもっているという解説を読む前に映像が浮かんできて、オーケストラのバックでスクリーンがあるように楽しく聴けた。（市内、60代女性）
生演奏の魅力に誘われて。レコード、CDから聴く音がそのまま聴くことができ、久しぶりの味わいだった。（市内、80代以上男性）
バリバリ演奏中に音が出るプラ袋は良くない。柔らかい材質にすべき。（市外、50代男性）

担当者
コメント

ジャパンエールプロジェクトの一環として、昨年、新型コロナウイルス感染症拡大により、活動自粛を余儀なくされた文化芸術関係者の力を合わせ、文化芸術への関心と熱意を取り戻すためのイベント「あいちオーケストラフェスティバル2021」。愛知県内の全プロ・オーケストラによる県内各地での連続公演を低価格で開催するという、これまでにない演奏会となった。長久手公演では、文化の家で定期演奏会や子ども向けイベントなど数多く開催し、県芸大卒業のメンバーも多く、文化の家と縁の深い愛知室内オーケストラと、文化の家フランチャイズアーティストとしても活動するサクソフォン奏者石川貴憲による協奏曲を演奏するなど、地元の特化したプログラムを用意した。



公演名	前進座 創作歌舞伎『牛若丸』		
日時	令和3年11月27日（土）	14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	松浪喜八郎他		
公演内容	前進座公演『牛若丸』併演歌舞伎の楽しさ		
入場者数	258	席設定 300	入場率 84.9%
チケット	(前売) フレンズ会員3,000円、一般3,500円、子ども（4歳～高校生）1,300円、親子券4,500円 (当日) フレンズ会員・一般3,500円、子ども（4歳～高校生）1,300円、親子券4,500円		
支出	【委託費】	2,971,050円	
	チラン印刷費	33,170円	
	パンフレット印刷費	11,605円	
	計	3,015,825円	
収入	【入場料】	722,500円	
	計	722,500円	
回収率	24.3%		

とてもよかった。かぶきはマジシャン、イルージョンみたい。はくりよくがあった。バエやきめつなどおもしろかった。（10代男性）

最初に解説があり、歌舞伎の世界がわかりやすく感じた。歌舞伎は初めてだったが、来てよかった。

アンケート結果 (30代女性)

地域の文化施設で前進座の歌舞伎が観れるなんて感激！（60代女性）

未就学児可の歌舞伎公演は珍しく、貴重な機会だった。子どもも楽しんでいた。先の長いお客になると良いと思う。（40代男性）

担当者
コメント


2020年2月に新型コロナウイルス感染症の影響で公演2日前に中止となつてから約21か月越しの開催。演者やスタッフ、さらには観客の皆様が待ち望んでいた瞬間が訪れた。前半の「歌舞伎の楽しさ」では敷居が高いと感じやすい歌舞伎の世界に入りやすい環境を整え、後半の『牛若丸』で本格的な歌舞伎を魅せる。子どもから大人まで楽しめた素晴らしい公演となった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	ダニエル・ハリトーノフ ピアノ・リサイタル2021 ドイツ・ピアノイズムの巨匠～ロマン派3つのソナタ～		
日時	令和3年11月28日（日）	15時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	ダニエル・ハリトーノフ		
公演内容	ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 作品13「悲愴」/ベートーヴェン ピアノ・ソナタ第17番 二短調 作品31-2「テンペスト」/ベートーヴェン 2つのラブソディ 作品79/ブラームス ピアノ・ソナタ第1番 ハ長調 作品1/ブラームス		
入場者数	140	席設定 596	入場率 23.3%
チケット	（前売）フレンズ会員4,200円、一般4,500円 （当日）一般4,500円		
支出		【委託費】	提携事業のため支出なし
		計	0円
収入		【入場料】	提携事業のため収入なし
		計	0円
回収率			
アンケート結果	インスタグラムの写真も楽しめた。本人の演奏の感想も後日読めるとうれしい。（市内、20代女性） アンコール「ラ・カンパネラ」嬉しかった。今後も楽しみなピアニスト。長久手でみられてよかった。お客様が少なかったのが少し残念。まだコロナ禍なので、1席空けの方が安心感があるし、ステージからの見た目も良いと思う。（市外、女性） とても良い演奏を聴けた。のびやかな音が印象的だった。（市外、60代男性）		
担当者コメント	全国7カ所で行われた公演で、中部圏では文化の家のみ開催。曲目がベートーヴェンとブラームスのピアノ・ソナタという渋めな選曲だったためか、集客に苦戦した。繊細さと大胆さを併せ持つ、とても若々しい演奏で、アンコールには「ラ・カンパネラ」を弾き、さわやかな笑顔とスタイルとが相まって、お客様は大満足の様子であった。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	フレンズ企画Part43 クリスマス・コンサート ～マリンバ&せともの打楽器&ハンドパン&ギター～		
日時	令和3年12月1日（水）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	市民参画事業（提携）		
出演者	詩貴（マリンバ&せともの打楽器）、左合栞（パーカッション）、西田尚史（ハンドパン）、生田直基（ギター）		
公演内容	きよしこの夜、コーヒールンバ、レインダンス、アストリアス、クリスマス・メドレー、リベルタンゴ		
入場者数	108	席設定 136	入場率 77.1%
チケット	(前売) フレンズ会員800円、一般1,000円 (当日) 一般1,000円		
支出	提携事業のため支出なし 計 0円		
収入	提携事業のため収入なし 計 0円		
回収率			
アンケート結果	<p>コンサートの堅苦しさもなく、寛ぎの時間で楽しかった。またの機会を待っている。（市内、80代男性）</p> <p>たくさんの茶碗に水を入れ音階を揃えるのは大変そう。ハンドパンは初めてだが癒やされた。（70代女性）</p> <p>せともの打楽器であそこまで音が出るとは驚き。楽しいコンサートだった。（70代女性）</p>		
担当者コメント	<p>フレンズ恒例の舞踊室で開催してきたクリスマス企画であるが、コロナウイルス感染症対策のため、風のホールで1席空けで開催し、地元瀬戸市のせともので楽器を開発しプロモーションを行う団体を立ちあげた詩貴率いるユニットを招いた。せともの打楽器やハンドパンは初めてというお客様も多かったが、丁寧な楽器解説もあり、柔らかい音色に癒やされたと好評であった。なお、夏のフレンズ企画に引き続き、当日の運営スタッフの人数は最小限とし、クリスマス企画恒例の立食形式での出演者との交流会や抽選会は中止とした。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	2021ジョイントフェスティバルベイビーシアター「まるまる」		
日時	令和3年12月4日（土） ①11時00分開演、②14時00分開演		
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	川原 美奈子、朝比奈 緑		
公演内容	ベイビーシアター「まるまる」		
入場者数	①9組 (大人10人、子ども9人) ②10組 (大人11人、子ども10人)	席設定 各10組	入場率 95.0%
チケット料金	(前売) フレンズ会員・一般 一組2,000円 (当日) フレンズ会員・一般 一組2,000円		
支出	委託費		274,725円
	チラシ印刷費		6,310円
	計		281,035円
収入	入場料		40,000円
	計		40,000円
回収率			14.6%

アンケート結果


小さな子どもの為の公演はなかなか無いので、とてもよい機会になった。(市内、40代女性)
 子どもが公演中寝ていたが、終盤頃に起きた後、特別に一部の公演内容を体験させて頂きとても嬉しかった。(市外、40代男性)
 人見知りで不安だったが、「まる」を主題とした、まるで絵本を読んでいるような楽しさがあり、子どももとてもじーっと見入っていた。小物等、子どもの興味をひくモノが多く、作り込んでいるのが伝わった。(市外、40代女性)

担当者コメント

乳幼児期に知覚の発達を促すためのベイビーシアターをお届けした。泣きじゃくっていた子どもが食い入るように公演を見ていた姿に驚いた。出演者によると、空間にゆっくりと慣れさせることが大切。その上で演技をすることで、より効果が高まるという。今後もこのような演者による、質の高いベイビーシアターを提供していきたいと思う。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	愛知県立芸術大学オペラ「イドメネオ」		
日時	令和3年12月11日(土)、12日(日)	14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業(提携)		
出演者	<p>【12/11(土)】大久保亮(イドメネオ)、谷中弦(イダマンテ)、清水万理子(イリア)、岩住久未(エレットラ)、田中潤(アルバーチェ・大司祭・声)</p> <p>【12/12(日)】住原春輝(イドメネオ)、寺島大雄(イドメネオ)、服部加奈(イダマンテ)、小島万里奈(イリア)、岡菜月(イリア)、土井里佳子(エレットラ)、柴田千沙都(エレットラ)、田中潤(アルバーチェ・大司祭・声)</p> <p>愛知県立芸術大学管弦楽団 佐藤正浩(指揮)</p>		
公演内容	歌劇「イドメネオ」(モーツァルト)		
入場者数	506	席設定 500	入場率 99.6%
チケット料金	(前売) 1,500円 (当日) 1,500円		
支出	【委託費】	提携事業のため支出なし	
		計	0円
収入	【入場料】	提携事業のため収入なし	
		計	0円
回収率	-		
アンケート結果	<p>ステージ上のアクリル板をオリや鏡、ドアとして工夫して使用しており、とても良い考えだなと感じた。(市外、30代男性)</p> <p>最前列では字幕スーパーをみあげる感じで、バルコニーのコーラス隊も、横を向いて見上げる感じで大変だった。席は移動出来ないで字幕スーパーを後方、下方にしたほうが良い。(市外、40代男性)</p> <p>昨年度は合唱がなかったが、やはり合唱団の歌声はアツイ!心にぐっときた。(市内、30代女性)</p>		
担当者コメント	<p>コロナ禍の中、文化の家の可動式舞台を工夫して使い演出された舞台となった。昨年度は参加できなかったオーケストラや合唱もバルコニーを使うなど、密を避けた形で演奏した。3時間に及ぶ演目だったが、朗々と聞かせるアリアがすばらしく、オペラセリアの魅力にあふれた公演だった。観客からは場所によって字幕が見にくいなどの声もあったが、学生たちの熱演に感動したという感想が多く聞かれた。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 日東工業presents 吹奏楽フェスティバル in Nagakute

日時 令和3年12月19日（日） 14時00分 開演

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業(提携)

出演者 長久手中学校、南中学校、北中学校、長久手高等学校、栄徳高等学校、吹奏楽団響

公演内容 北中学校「Advance March」ほか2曲、長久手中学校「カイト」ほか1曲、南中学校「Under The Sea」ほか1曲、栄徳高校「セドナ」ほか2曲、長久手高校「宝島」ほか1曲、吹奏楽団響「夜に駆ける」ほか2曲

入場者数 無観客配信のみ（1,251人視聴）

支出	【委託費】	提携事業のため支出なし	
	計		0円

収入	【入場料】	提携事業のため収入なし	
	計		0円

回収率 —

配信があるのはありがたいが、音がよくなかった。大きくなったり小さくなったりした。（視聴者）


アンケート結果 部長、副部長にインタビューがあり、広く知ってもらえる機会になりよかった。（教員）
他の学校の演奏をリハーサルで聴くことができたのがよかった。（出演者）
みんなで練習した成果を発揮することができた。（出演者）

担当者
コメント

市内の吹奏楽団体が一同に会する吹奏楽フェスティバル。例年各団体の演奏と出演者約250人による合同演奏を届けてきた。今年度は、感染症対策のため、合同演奏を中止し、無観客公演での関係者向け配信のみを行う形となった。配信に主軸をおいたことでこれまでホールに入りきらなかった出演者の家族や、出演者の遠方の親族や友人も、公演を視聴でき、新たな可能性を感じる公演となった。学生同士が互いの練習の成果を見る機会となり、社会人で演奏活動をしている大人と取り組む事業としても非常に貴重な機会となっている。日東工業株式会社によるバックアップあつての事業となり、今後も協力を継続していただけるように関係を深めていきたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	Memorial Composers3 フルーツで聴くサン＝サーンス		
日時	令和3年12月22日（水）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	細川杏子（フルート）、橋本岳人（フルート）、江川智沙穂（ピアノ）、岡田麗紗子（オーボエ）、安田莉子（クラリネット）		
公演内容	序奏とロンド・カプリチオーソ（C.サン＝サーンス） ロマンズ（C.サン＝サーンス） ハンガリー小二重奏曲（F.ドップラー） フルーツとピアノのためのソナタ（團伊玖磨） デンマークとロシアの旋律による奇想曲（C.サン＝サーンス）		
入場者数	124	席設定 198	入場率 61.4%
チケット料金	（前売）フレンズ会員1,800円、一般2,000円 （当日）一般2,000円		
支 出		委託費	200,000円
		印刷製本費	23,163円
		ピアノ調律費	23,100円
		著作権使用料	3,102円
		計	246,263円
収 入		入場料	243,000円
		計	243,000円
回 収 率			121.5%
アンケート結果	滅多に見ることができないメンバーでの演奏だったので特別感がありました（市外、20代女性） MEMORIAL COMPOSERという企画はとても良いと思う（市外、50代男性） 歌のMemorial Composersもいつか楽しみにしています（市内、20代女性）		
担当者コメント	2021年にアニバーサリーを迎える作曲家にスポットをあてた企画第3弾。没後100年を迎えたサン＝サーンスに焦点をあて、フルートをメインに構成した。前年度まで創造スタッフだった細川杏子氏をはじめ、地元ゆかりのある演奏家が出演した。知名度の低い曲が多かったが、観客からの選曲への満足度も高く、掘り出し物の楽曲に出会う機会が提供できた。支出をカバーできる入場料は得られたが、吹奏楽連盟のアンサンブルコンテストと時期が重なり集客に苦労したため、事前のリサーチが必要であった。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	JAZZ長久手～やっぱりジャズはイイ！		
日時	令和4年2月18日（金）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	大西順子（ピアノ）、井上陽介（ベース）、大儀見元（パーカッション）、吉良創太（ドラム）		
公演内容	Harvest! Harvest!（作曲：大西順子）、Charlie The Wizard（作曲：大西順子）、Un Dia de Cielo Azul（詩：石塚隆充、大儀見元/作曲：大西順子）、Ground Swell（作曲：大西順子）、Tridacna Talk（作曲：大儀見元）、High Tide（作曲：大西順子）、Low Tide（作曲：大西順子）、Kippy（作曲：Dollar Brand）、Wind Rose（作曲：大西順子）、<ENC>Fool on the Hill /（作曲：the beatles）、It's a Fine Day（作曲：大西順子）		
入場者数	304	席設定 327	入場率 93.0%
チケット料金	（前売）一般3,000円、学生1,500円 （当日）一般3,000円、学生1,500円		
支出			委託費 1,000,000円
	【委託料】音響委託料		250,800円
	【委託料】看板作成委託料		44,000円
	【役務費】ピアノ調律料		53,900円
	【印刷製本費】チラシ印刷費		16,363円
	【使用料】著作権使用料		19,332円
	計		1,384,395円
収入			入場料 957,000円
	計		957,000円
回収率			69.1%

やはりJAZZはLIVEだ！大西さんのパワフルなピアノに力をいただいた。（市内、60代男性）
大西さんのライブは聞くたびに变化していくから、刺激的。トリオもよいが、大儀見さんが触媒となっ
アンケート結果 てさらに音に幅が出た。（市外、60代男性）
セッションの空気感が面白くてあちこちに目を移動させた。音が体に響いてこれだよなって思った。
（市内、40代女性）

本格的なジャズが気軽に楽しめる公演として好評を得てきたJAZZ長久手。今回は10周年記念公演として、大西順子率いるカルテットが出演。チケットは公演2週間前に完売となった。力強さと繊細さを兼ね備えた大西順子のピアノに重量感のある井上陽介のベース、安定したリズムと細かいフィルを切り込む吉良創太のドラム、そして、パーカッションの大儀見元が音楽に表情とユーモアを加え、耳で聴くだけでなく、身体でリズムや鼓動を感じるような音楽に圧倒され、あっという間の2時間となった。10回という節目を盛大に祝い、新たな時代への幕開けを予感させる公演となった。



備考

チケットは、客席を100%収容・50%収容エリアの2つに分け、販売した。また、当日は、100%収容エリアを購入した方は、2階席（1席空き）への席移動を可とし、4名が移動した。

公演名	午後の佇み③歌曲で紡ぐ春への祈り 2		
日時	令和4年2月9日（水）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	本田美香（ソプラノ）、丸尾祐嗣（ピアノ）、八木健史（ホルン）		
公演内容	うぐひす（早坂文雄）、早春賦+春へのあこがれ（中田章+モーツァルト）、「野ばら」（シューベルト）、野薔薇（山田耕筰）、遠い国からの歌（ベートーヴェン）、あなたを愛している（ベートーヴェン）、ピアノソナタ第5番（ベートーヴェン）、水の上にて歌えり（シューベルト）、アルプスの狩人（シューベルト）、流れの上で（シューベルト）、アンコール：万霊節の祈り（シューベルト）、北の国から（さだまさし）		
入場者数	121	席設定 200	入場率 59.3%
チケット料金	(前売) 一般・フレンズ会員1,000円 (当日) 一般1,000円		
支出		委託費	120,000円
		印刷費	14,070円
		ピアノ調律費	22,000円
		計	156,070円
収入		入場料	122,000円
		計	122,000円
回収率	78%		

アンケート結果

大変上質な演奏会だった。西洋と日本の歌曲の対比、ベートーベンとシューベルトの歌曲の対比など選曲の妙な秀逸！大いに楽しませてもらった。（市外、60代男性）

今日の演奏会はプログラムも良く、ストーリーがあって楽しい！本田さんの声も素晴らしい！歌曲にぴったりで美しい声だった。アンコール2曲泣けた！（市内、70代女性）

外は少し暖かな陽差しを感じる日にコンサートに来てよかった。流れるピアノの音色、丸いやわらかなホルンの音色、美しい歌声が会場にあふれ融合にいやされた。（市外、40代女性）

担当者コメント

昨年好評だった歌曲シリーズの第二弾。今回も、テーマは「春を待ちわびて」であったが、冒頭にバルコニーからアカペラで歌うなど、演出にも凝り、数曲ではあるがホルン奏者も加わり、聴き馴染みのない曲でも、親しみやすく暖かい演目となった。さらに曲間のMCを、影アナでDJスタイルとして行い、観客に気楽に楽しんでもらおうという、午後の佇みの客層にあった工夫が施されていた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 ながくて寄席 林家たい平独演会

日時 令和4年2月23日（水） 14時00分 開演

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業（提携）

出演者 林家たい平、林家あずみ（三味線漫談）

公演内容 長短、三味線漫談、今様替り目

入場者数 305 席設定 531 入場率 56.8%

チケット料金 （前売）フレンズ会員3,400円、一般3,600円
（当日）4,000円

支出 提携事業のため支出なし

計 0円

収入 提携事業のため収入なし

計 0円

アンケート結果 久し振りに大笑い楽しかった！新作や古典を下敷きに現代を風刺（市内、女性）
何十年ぶりに目から涙を出して笑った。笑うことの大切さを教えてもらった。感動した。芸人だ。（市外、男性）
このご時世で暗い話題ばかりのところ決断し開催してもらえてよかった。あずみさんもさわやかでいい。（市内、60代、女性）

担当者コメント 収容率100%の座席で発売したが、その後感染者が急増し、まん延防止等重点措置発令中での公演となった。公演時間100分を予定していたが、会場の雰囲気がとても良く20分以上延長した。たい平さんも反応の良さに、とても喜んで会ができたと言っていた。感染拡大で客足は伸びなかったが、出演者も観客も明るい気持ちになった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名
 長久手市市制施行10周年記念事業
 近藤薫の音楽哲学 Nature-Centered自然、人、音楽

日時 令和4年3月6日（日） 14時00分 開演

場所 長久手市文化の家 風のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業

出演者 近藤薫（ヴァイオリン）、森夕希子（ピアノ）、時高直子（司会）

公演内容
 第1部：講演会
 第2部：コンサート
 《4つのロマンティックな小品》より、第1曲「カヴァティーナ」（A.ドヴォルザーク）
 ヴァイオリンとピアノのためのソナタ作品18より、第1楽章（R.シュトラウス）
 ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第4番 BWV1017より、第1楽章「シチリアーノ」
 《なつかしい土地の思い出》より、第3曲「メロディ」（P.I.チャイコフスキー）
 ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第3番（J.ブラームス）
 アンコール：タイスの瞑想曲（J.マスネ）

入場者数 161 席設定 182 入場率 86.6%

チケット料金
 （前売）フレンズ会員1,800円、一般2,000円、学生1,500円
 （当日）一般2,000円、学生1,500円

支出	委託費	496,000円
	印刷製本費	27,722円
	ピアノ調律費	33,000円
	計	556,722円

収入	入場料	292,300円
	計	292,300円

回収率 58.9%


アンケート結果 人間、自然、芸術、生きる力、空海の求めたもの、脳の根幹に残る感性、これらの関係を先端技術として研究されている先生に感銘した。（市内、70代男性）
 近藤先生は単なる演奏者ではない。宗教的な教養を身につけた方であると感じた。（県内、男性）
 心身にしみこむ様な素晴らしい演奏だった。人、自然、音楽（芸術）、科学先行の世界に芸術がもっともっと融合していくことを期待している。（県内、50代女性）

担当者コメント
 近藤薫氏は、“東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター”と“東京大学先端科学技術研究センター先端アート分野特任教授”という異色の肩書きを併せ持つアーティスト。1部に近藤氏が理念とする自然主義に関する講演、2部に演奏という珍しい公演形式で開催した。近藤氏の著書を販売し、用意した40部が即完売となった。来場者が講演内容に共感した結果だと思われる。




公演名	石川貴憲サクソフォンリサイタル		
日時	令和4年3月25日（金）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	石川貴憲（サクソ）（フランチャイズアーティスト）、丸尾祐嗣（ピアノ）、菅原拓馬（ピアノ）、平光真彌（ヴァイオリン）、牧野葵（ヴァイオリン）、新谷歌（ヴィオラ）、幸田有哉（チェロ）、わくわくキャラバンサクソ隊（三輪一登、大嶋漢、川地立真）		
公演内容	レジェンド（フローラン・シュミット）、ホットソナタ（E.シュルホフ）、サクソフォン四重奏のための「小四重奏曲」（ジャン・フランセ）、サクソフォン五重奏曲作品34（アドルフ・ブッシュ）、アンコール：チャップリン／スマイル		
入場者数	117	席設定 300	入場率 38.2%
チケット料金	（前売）一般・フレンズ会員2,500円、学生1,000円 （当日）一般・フレンズ会員2,500円、学生1,000円		
支出	委託費	450,000円	
	印刷製本費	35,280円	
	ピアノ調律費	23,100円	
	著作権料	4,415円	
	計	512,795円	
収入	入場料	195,500円	
	計	195,500円	
回収率	43.4%		
アンケート結果	<p>とても素晴らしい演奏でした。サクソフォンの魅力が満載だった。（市外、50代女性）</p> <p>石川さんを通して`つながり`を感じるとてもステキなコンサートだった。（市内、40代女性）</p> <p>四重奏楽しかったです。アンコールはとても楽しい企画だった。（市内、80代男性）</p> <p>どの出演者の方に対してもファンになりました！！（市内、30代女性）</p>		
担当者コメント	<p>石川貴憲氏は、創造スタッフとして4年、フランチャイズアーティストとして3年、計7年にわたり文化の家で活動してきたサクソフォン奏者。石川氏の集大成コンサートにふさわしい濃厚な内容のコンサートとなった。石川氏が構築してきた人間関係や人柄が表出された内容となった。共演者にもスポットを当て、石川氏を取り巻く人々の温かさが伝わった。演奏のレベルも非常に高く、アンケートからも満足度が高いコンサートとなったことがうかがえた。集客面では、課題が残ることとなった。</p>		



公演名	朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ第3弾「注文の多い料理店」		
日時	令和4年3月26日（土）	11時00分開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	自主創造活動事業		
出演者	文化の家創造スタッフ 大脇ばんだ（朗読）、弓立翔哉（打楽器）、小田智之（作曲・ピアノ）		
公演内容	宮沢賢治作「注文の多い料理店」		
入場者数	69	席設定 80	入場率 86.3%
チケット料金	(前売) 500円 (当日) 500円		
支出	委託費		0円
	計		0円
収入	入場料		39,500円
	計		39,500円
回収率			
アンケート結果	<p>企画のねらいが見事に達成されたと思った。お話の不思議さとすごさがよく伝わってきて楽しめた。（市内、50代女性）</p> <p>音楽演奏はファンタジーで決して話しが邪魔して無くて素晴らしい。朗読は「語り」と「台詞」のトーンが同じに聴こえメリハリが無かったように思えた。（市内、20代男性）</p> <p>自分で本を読んだ時より深い感情をもてる。音楽の力も素晴らしいと気づけた。（市内、50代男性）</p>		
担当者コメント	<p>昨年度から続く朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ。前回に続きチケットは完売し、オンライン配信を実施した。場面が切り替わる部分が少なく、公演時間が30分程度と短くなった。音楽による世界観と朗読による現実感があり、出演者との距離感も近いことから、物語に没入しやすかったという声が多かった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手市合唱団ニューセンチュリーコーラスNagakute 第23回定期演奏会		
日時	令和4年3月27日（日）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	山本高栄（指揮）、野々山雅子（ピアノ） 長久手市合唱団ニューセンチュリーコーラスNagakute（合唱）		
公演内容	混声のための童謡名歌集「日本の四季めぐり」 混声合唱のための「宮崎駿アニメ映画音楽集」	（編曲者：名田 綾子） （編曲者：信長 貴富）	
入場者数	267	席設定 300	入場率 89.0%
支出	提携事業のため支出なし 計 0円		
収入	入場料 提携事業のため支出なし 計 0円		
アンケート結果	<p>コロナ禍での演奏会は練習等大変だったと思う。でも素晴らしい歌声が聞けりフレッシュできた。四季めぐりは、知っている歌ばかりで心の中で一緒に歌った。（市内、70代女性）</p> <p>マスクのせいでピアノシモがこもってきこえたのが残念だった。短いコンサートだったが楽しめた。持続することの大変さを感じた。（市内、70代男性）</p> <p>歌はもちろん、みなさまが楽しそうに歌われるお姿を見て勇気もらった。（市外、30代男性）</p>		
担当者コメント	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となったため、2年ぶりの開催となった。合唱練習ができない期間が続き、団員数も半分に減少した。制限下での開催であったが、来場者が親しみやすい選曲をし、来場者も温かい気持ちで聴いていた。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 クーテシガーナキッズダンス隊第9期生発表会

日時 令和4年4月2日（土） 11時00分開演

場所 長久手市文化の家 風のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業（提携）

出演者 クーテシガーナキッズダンス隊

公演内容 クーテシガーナ、チム・チム・チェリー、スーパーカリフラジリスティックエキスピアリドーション、LISTEN TO THE MUSIC、ともに、カイト、ONE

入場者数 131 席設定 160 入場率 79.9%

支出 提携事業のため支出なし
計 0円

収入 提携事業のため収入なし
計 0円

アンケート結果
 すごくて自分もやってみたいと思った。（市内、男性9歳以下）
 とっても感動してあたたかい気持ちになった。ステキなステージだった。（市外、女性50代）
 前回より、更に素敵なステージだった。高学年の方たちはとてもかっこよくて感動した。公演料をとっていいと思う。（市内、女性20代）

担当者
コメント

長久手応援ソングを普及するための事業の一つ。キッズダンス隊は令和2年度に独立。保護者が運営し、文化芸術活動と子どもの健全育成を目指す活動をしている。今回の発表会は独立してから3回目となる。子どもたちの成長に合わせ、ダンスの精度が上がり、とても見応えのある内容となった。本発表会は長久手応援ソング「クーテシガーナ」を広めることで、市に愛着を持っていただく機会となる事業であるため、文化の家としては今後も継続していきたい。

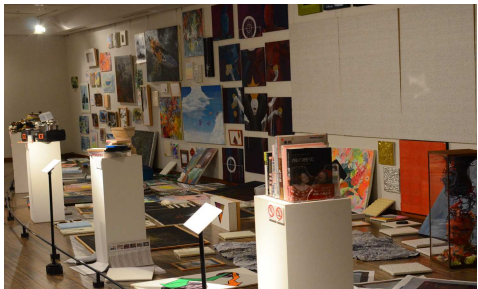


2 企画展示

長久手市文化の家 自主事業報告書

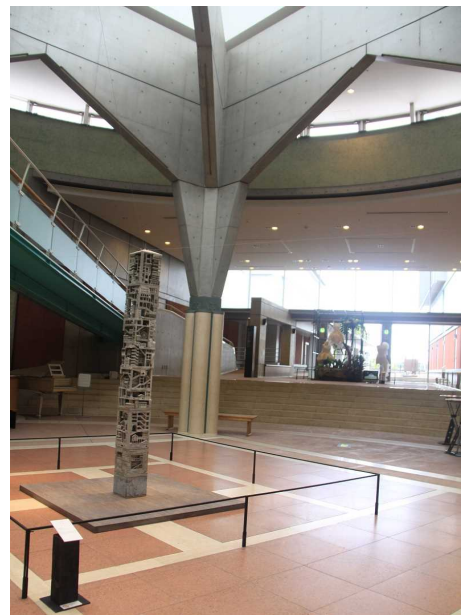
事業名	愛と知のちから パートXIV 吉岡弘昭展 不思議なヒトとイキモノ達		
日時	令和3年4月14日～22日（木）10時00分から19時00分まで（最終日は17時00分まで）		
場所	長久手市文化の家 展示室		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
入場者数	547		
入場料	無料		
支出	委託費		250,000円
	展示物管理委託		66,907円
	看板作成委託		44,000円
	印刷製本費		41,291円
	計		402,198円
収入	入場料		0円
	計		0円
回収率			0.0%
アンケート結果	「東方の人」「バッタの男」「人・犬・宇宙」シリーズが好き。色づかい、民族的なふんいきがよい。（市外、40代女性） 不可思議で面白い。（市内、70代男性） ワクワクする絵画だった。絵は描けないが、見るの大好き。ハガキとか欲しかった。（市外、50代女性）		
担当者コメント	<p>株式会社名古屋画廊の協力の下、所蔵作品等を紹介する企画展で、今回が14回目。正体不明のイキモノ達が躍動するユーモラスにして、ペーススあふれる独自の画世界を築いた吉岡弘昭氏の作品群の展示。画風は鑑賞者評価にもあるように、不可思議なワクワクする描写で、制作年にかかわらず、いつまでも若さが保たれていた。吉岡氏は、幼稚園での指導歴が画家歴とほぼ同じ期間である。その経歴を生かし、関連公演企画も実施した。参加者自身の子どもの絵を診断するコーナーもあり、現在のお子様の状況を的確に当てられ驚く参加者や、「お子様は内心このように思っているだろう」との評価に涙する参加者もいた。子育て世代が多い長久手市ならではの企画が実施でき、今後の子育てのヒントを提供できた。</p>		



事業名	創造スタッフ小西祐矢個展「交差する人生」		
日時	令和3年8月26日(木)～9月5日(日) 10時00分から19時00分まで(最終日は17時00分まで)		
場所	展示室		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出展者	小西祐矢		
内容	今年度から新しく美術系創造スタッフになった小西祐矢のおひろめ展覧会として開催。同じ時代を共有してきたアーティストの体験とその作品の関係性を比較することで、お客さんに「ものづくり」の原点を思考する機会を提供し、新たな創造へと繋げるのが狙い。「交差する人生」をテーマに“自分がつくったもの”と“自分をつくったもの”を展示し、展示室内には約100点以上の作品が並んだ。		
入場者数	327		
支出	消耗品費	17,415円	
	チラシ印刷費	16,102円	
	計	33,517円	
収入	入場料	0円	
	計	0円	
回収率	0.0%		
アンケート結果	<p>絵を書いている私にとってこの想像力の豊かさに「スッキリ」した。絵を続ける気になった。(市外、60代女性)</p> <p>出展者の子どもころの作品から大人の時の作品まで時代の移り変わりを感じられた。(市内、10代男性)</p> <p>展示内容についての説明がもう少し多いと初心者には助かる。(市内、50代男性)</p>		
担当者コメント	<p>これまで彼が影響を受けてきたものを軸に、幼少期の作品から現在の作品まで約100点以上を展示し、壁に飾るだけでなく床にも作品を敷き詰めて空間全体としての作品の見せ方を展開した。アンケートからは賛否両論あったが概ねよい意見が多く、お客さんに新しい刺激や驚きの出会いを提供できた。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書


事業名	ながくてアートフェスティバル2021		
日時	令和3年9月18日（土）～10月10日（日）（各会場により異なる）		
場所	長久手市内		
事業の種類	アートのまち創造事業		
出展者	櫃田伸也、久野利博、山本富章、櫃田珠実、阿野義久他計100人		
入場者数	（文化の家入場者数）13,044人		
支出	NAF2021アートマップデザイン委託	100,000円	
	NAF2021記録冊子デザイン委託	100,000円	
	文化の家空き地草刈委託	210,000円	
	NAFマップ、広報折込用チラシ印刷	247,252円	
	NAF記録冊子印刷 消耗品	151,811円 20,043円	
	計	829,106円	
収入	入場無料のため	0円	
	計	0円	
回収率			-
アンケート結果	<p>個人情報なので、アンケートの回収箱をちゃんとした施設にも置いてほしい。（市内、40代女性）</p> <p>サイクリングしながらのスタンプラリーは楽しかった。（市外、20代男性）</p> <p>一番印象的なのは訪れる所の皆さんが、温かくもてなしてくれたこと。作家さんとお話ができ楽しい雰囲気味わえたのが作品を見る喜びの他に、良い思い出となった。（市外、50代女性）</p>		
担当者コメント	<p>毎年、数々の展示企画やワークショップなどを企画し、開催してきたNAF。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度は中止となった。実行委員会で様々な議論を重ねた結果、今年度は、人と人との接触が伴う部門及び多くの人が集まる部門を除いて開催することになった。規模を縮小したとはいえ、「人と人をつなぐ」という理念はなくさずに開催し、例えば文化の家会場では、展示作家が開館日には少なくとも1人は在館した。例年少なかった文化の家の平日昼間の来場者が増加した印象があった。コロナ禍で自粛生活を行っている中で癒やしを求めて来た人が増えたと推測される。展示作品で少しでも非日常感を味わうことにより、日々の緊張を和らげることに繋がったのではないかと考えられる。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

事業名	アンデゴハンダン展		
日時	令和4年1月21日（金）～28日（金）		
場所	長久手市文化の家 展示室		
事業の種類	市民参画事業		
出展者	市内在住・在勤・在学の人（年齢・国籍問わず）24人		
内容	<p>長久手市在住、在勤、在学の人を対象にテーマを設けず、絵画（油彩画・水彩画・アクリル画・日本画等）を募集。</p> <p>作品の優劣をつけず、自由出品・無記名・無審査・無賞で、応募のあった作品を展示し、来場者からの投票により反響のあった作品に記念品を贈呈した。</p>		
入場者数	266(投票数198)		
支出	委託費		59,117円
	キュレーション謝礼		50,000円
	チラシ印刷費		11,094円
	記念品		35,000円
	計		155,211円
収入	入場料	入場無料のため	収入なし
	計		0円
回収率	-		
アンケート結果	<p>とてもレベルの高い展覧会だと思った。次回もぜひ観に来たい。（市内、10代女性）</p> <p>子どもから大人までテーマが自由が意外とおもしろかった。個展やグループ展とは違ったバラエティ感が良い。（市内、20代）</p> <p>大人も子どももアーティストのキャッチコピーどおりで見ていてとても楽しかった。今後も続けてほしい。（市内、10代）</p>		
担当者コメント	<p>絵画コンクールに代わる事業として、市民を中心に自由出品の展覧会を初開催した。応募作品は想定の半分ほどであったが、子どもから大人まで様々な絵画が集まり、7日間で250人を超える来場者があった。投票テーマを設け、来場者にも参加してもらった新しい形の展覧会を開催でき、市民に芸術を身近に感じ、芸術活動に参加したいという気持ちが高まったと感じている。</p>		

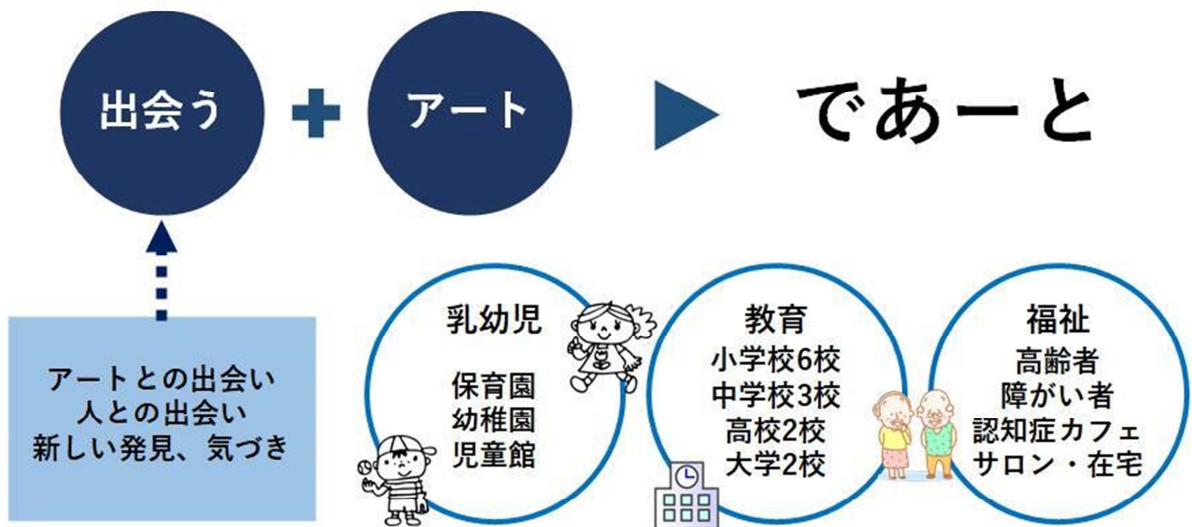


事業名	美術系創造スタッフ2人展「創造しいしごと」		
日時	令和4年2月8日(水)～18日(金)		
場所	長久手市文化の家 展示室		
事業の種類	アートのまち創造事業		
出展者	美術系創造スタッフ 小林大地、小西祐矢		
内容	美術系創造スタッフによる作品展示。創造スタッフ劇場「少女とカラクリ」に使用したカラクリ「ルーチェ」を中心とした劇中使用制作物や台本、絵コンテ等の展示。おんぱくで制作した衣装や小道具の展示。また、2人それぞれの個人作品の一部を展示した。		
入場者数	545		
支出	委託費		0円
	計		0円
収入	入場料		0円
	計		0円
回収率	-		
アンケート結果	<p>現在7才の息子が0才の時から文化の家を楽しんできたことを思い出した。(市内、40代女性)</p> <p>いろいろな写真やお話がおもしろかった、ダンボールでできるんだと思った。(市内、9歳女性)</p> <p>とても楽しい時間となりました。それぞれの完成度が高くて、おどろき。(50代男性)</p>		
担当者コメント	<p>コロナ禍にもかかわらず、とてもたくさんのお客様に楽しんでいただくことができた。また、今年度を最後に8年間美術系創造スタッフとして活動した小林大地さんが卒業するため、集大成的にこれまでの8年間を振り返る展示内容で、来場者からは懐かしいなどの声もあり、文化の家が住民のみなさんと共に歩んでいることを実感できる展示となった。</p>		

3 普及啓発事業

長久手市文化の家では、次世代を担う子どもを始め、生の舞台公演や芸術作品をあまり鑑賞しない市民、都市部まで足を運ぶことが困難な高齢者など、文化芸術に触れることが少ない市民を対象に、文化の家で公演や展示を行ったり、市内各地に出向いたりして普及啓発事業を行っています。


長久手市文化の家アウトリーチ事業



公演名	令和3年度自主事業エデュケーションプログラム「中学校であーと」		
日時	①令和3年6月30日(水)、7月1日(木)②令和3年7月9日(金)③令和3年7月15日(木)		
場所	①長久手市立長久手中学校②長久手市立長久手南中学校③長久手市立長久手北中学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	①福本真琴(チェロ)、福本真弓(ピアノ) ②小松大(フィドル)、中村大史(ギター) ③平光広太郎(ピアノ)、出宮寛之(ベース)、清水行人(ギター)		
公演内容	①文楽(黛敏郎)、愛の挨拶(エルガー)、チェロソナタ第2楽章(ショスタコーヴィチ)、ハンガリーラプソディ(ポッパー)、愛の夢第3番(リスト) ②アイルランド伝統曲メドレー、アイルランド伝統曲ジグメドレー、doolin(中村大史)、美しいドゥーン川の岸辺、バタフライ、アイルランド伝統曲リールメドレー ③Take the A train(Duke Ellington)、Summertime (George Garshwin)、【解説】C jam blues (Duke Ellington)、【実験】その場で作曲、Donna Lee(Charlie Parker)		
入場者数	①196人(全5回) ②288人(全3回) ③161人(全3回)		
支出	【委託費】		300,000円
	計		300,000円
収入	【入場料】	無料公演のため	0円
	【助成金】		122,000円
	計		122,000円
回収率			40.7%
アンケート結果	<p>生演奏を初めて聞いたが、愛の挨拶が素晴らしすぎて涙がでてきた。(長久手中学校)</p> <p>きっかけ1つで人生が変わってしまうんだと思い、自分も好きなことに突き進んでいきたいと感じた。(長久手南中学校)</p> <p>ジャズの魅力や面白さに気づくことができ、音楽がもっと好きになりました。(長久手北中学校)</p>		
成果	<p>今回で16回目となる中学校へのアウトリーチ事業。コロナの影響で1年ぶりの開催となった。換気、MC時マスクの着用、広い部屋を使用、吹奏楽器を使用しないなど感染症対策を徹底して実施した。また、今回から生徒への事前・事後アンケートに加えて先生への事後アンケート、アーティストへの事後アンケートを実施し、実施後にはアーティストを交えて振り返り会を行うことで効果検証の精度を高めた。学校ごとに内容は様々であったが、アーティストが楽しそうに演奏する姿や、彼らの語る言葉を受けて、音楽の楽しさや好きなことに挑戦する大切さなど伝わるものが多く、キャリア教育に繋がる機会にもなった。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	ホール見学SHOW		
日 時	令和3年8月19日（木）	11時00分 開演	
場 所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	創造スタッフ：大脇ぼんだ（演劇）弓立翔哉（パーカッション）、小田智之（ピアノ） 魔界補佐官ブラクトミー、魔界戦士ドドス、魔界戦士ザング、魔界帝王デスカイザー		
公演内容	文化の家オフィシャルYouTubeチャンネルに登場する魔界からやってきたキャラクター「魔界補佐官ブラクトミー」と演劇系創造スタッフの大脇ぼんだが掛け合いによる進行で、ビデオ森のホールの歴史や舞台機構を案内していく。後半は、舞台演出実演を兼ねた、魔界を冒険するストーリー仕立てのショート演劇を行った。音楽系創造スタッフの弓立翔哉（パーカッション）と小田智之（作曲・ピアノ）も登場し、随所に演奏を入れながら、音楽も楽しめる公演内容。		
入場者数	266	席設定 360	入場率 73.9%
支 出	【委託費】		0円
	計		0円
収 入	【入場料】		0円
	計		0円
回 収 率	-		
アンケート結果	<p>まかいのきょくや、ノリノリのきょくがたのしかった。（市内、9歳女性）</p> <p>おもしろかったので、また来たい。（市内、10歳男性）</p> <p>文化の家について知ることができ、私自身興味を持った。ショーも子供が楽しく観ていたのでよかった。（市内、30代女性）</p> <p>ブラクトミーとぼんださんのかけ合いが良かった。音楽も感動した。（市内、40代女性）</p>		
担当者コメント	<p>コロナ禍の子ども向け公演としては、多くのお客様に楽しんでもらうことができた。創造スタッフの個性が発揮され、文化の家 OfficialYouTubeチャンネルに登場するキャラクター「魔界補佐官ブラクトミー」も案内役として出演し、親しみやすい内容となってよかった。</p>		

公演名	小学校であーと(北小学校)		
日時	令和4年2月24日(木)		
場所	長久手市立北小学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	前田雄輝(ヴァイオリン)、岡田直人(ヴァイオリン)、園部真秀(ヴィオラ)、溝口琴音(チェロ)		
公演内容	フィガロの結婚(モーツァルト)、愛の挨拶(エルガー)、イタリアのハロルドより(ベルリオーズ)、チェロソナタNo.1 1楽章より(ブラームス)、弦楽四重奏曲第4番 2楽章、弦楽四重奏曲第9番「ラズモフスキー第3番」第4楽章(ベートーヴェン)		
入場者数	189	(北小学校4年生5クラスが対象)	
支出		委託費	60,000円
		計	60,000円
収入	無料公演のため入場料収入なし		0円
		計	0円
回収率			0.0%
アンケート結果	<p>CDで聞いたときよりも音が綺麗でびっくりした。楽しく授業を受けることができた。(児童)</p> <p>弦楽四重奏曲の残りの曲が気になる。(児童)</p> <p>音楽の良さがとてもわかった。夢をおいかけ続けていて、すごいなあと思った。(児童)</p> <p>コロナ禍以前のように、昼の時間等に廊下を演奏しながら回る機会があれば嬉しい。(教員)</p>		
担当者コメント	<p>感染症対策のため、音楽室ではなく広い体育館で実施した。同時に最大3クラスがアウトリーチ授業を受けたため、アーティストと児童との距離があり、間近で感じられる良さが出せるか心配された。スライドを使用し、子どもたちの関心をひきつける構成ができ、子どもたちから好評を得た。出演者からも「自身が成長できた」と感想が大きく、アーティスト育成の場として成功したとみられる。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 小学校であーと(市が洞小学校)

◎文化庁補助事業

日時 令和4年3月11日（金）

場所 長久手市立市が洞小学校

事業の種類 普及・啓発事業

出演者 弓立翔哉（パーカッション）、小田智之（ピアノ・作曲）

公演内容 Talking
トライアングル
チャイムのメロディーを利用したオリジナル曲 など

入場者数 190 （市が洞小学校4年生5クラスが対象）

支 出	委託費	60,000円
	計	60,000円

収 入	無料公演のため入場料なし	0円
	計	0円

回収率 0.0%

アンケート結果
 学校のチャイムをここまで凄い曲にできて、凄いと思った。（児童）
 文化の家に行って見たいと思った。（児童）
 私はピアノを習っているから、もっとがんばって練習をしてあんな風に弾きたい。（児童）
 馴染みのある音をアレンジしたり、知っている曲が流れたりしていて、楽しめた。（教員）

担当者
コメント
 音楽系創造スタッフの2人（弓立・小田）により実施。創造スタッフとしてこれまでに子どもを対象としたコンサートを多く実施してきた経験値から、子どもたちの関心を十分に引く内容で実施することができた。感染症対策のため、音楽室ではなく広い体育館で実施し、一度に2クラス以上で実施した。大きなスクリーンに映像を映すなど、体育館という環境を生かした内容で子どもたちは体を揺らしながら楽しむことができた。



公演名	小学校であーと(長久手小学校)		
日時	令和4年3月16日(水)		
場所	長久手市立長久手小学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	wind quintet sola 村松和奈(オーボエ)、尾上一葉(フルート)、滑川敬一(クラリネット)、安間花鷄(ファゴット)、伊藤歩美(ホルン)		
公演内容	クープランの墓より、リゴードン(ラヴェル) 山の音楽家じゅんぱん協奏曲(石川亮太) ユーモレスク(ツェムリンスキー) 3つの小品より、第1楽章(イベール)		
入場者数	98 (長久手小学校4年生3クラスが対象)		
支出	委託費	100,000円	
	計	100,000円	
収入	無料公演のため入場料収入なし	0円	
	計	0円	
回収率	0.0%		
アンケート結果	<p>楽器の個性を使って演奏していて、タイミングを合わせていた。(児童)</p> <p>全員の楽器も興味をもったし、「sola」のグループもすごく興味をもちました。(児童)</p> <p>息を合わせて演奏していて、チームプレイをしているなど感じました。(児童)</p> <p>CDなどでは感じることはできない迫力、感動を味わうことができました。(教員)</p>		
担当者コメント	<p>今年度の小学校であーとの中で、長久手小学校のみが音楽室で実施できた。出演した県芸大学生グループの「wind quintet sola」は、実施に至るまで非常に多くの練習やグループ内及び文化の家スタッフとの協議を経て、本番直前まで改良を重ねた。実施後に子どもたちからお手紙をもらうなど、短い時間で子どもたちと信頼関係を築くことができた。出演者自身も大きなやりがいを感じたようだ。これからアウトリーチに取り組む若きアーティストとなっていくことを期待したい。</p>		



令和3年度 福祉事業（ふくしであと） 事業報告書

◎文化庁補助事業

コロナ禍で社会から孤立してしまう福祉施設に対して、中庭やバルコニーを利用した訪問コンサートを行った。感染症対策で施設に立ち入らずに屋外で演奏を行った。福祉施設では外部者との交流を制限せざるを得ず、ボランティアや慰問などの機会が激減したため、この訪問コンサートは施設職員や施設利用者から非常に喜ばれ、演奏者との間に、信頼関係が生まれることとなった。

鑑賞者数	各回約30人（年間鑑賞者数約390人）
演奏者	石川貴憲（サクソ、フランチイズアーティスト）、菅原拓馬（ピアノ・作曲）、弓立翔哉（パーカッション、創造スタッフ）、小田智之（ピアノ・作曲、創造スタッフ）

	日程	実施先の名称	サービス	運営母体
1	6月25日	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	社会福祉法人 愛知たいようの杜
2	7月2日	楽家晴	小規模多機能型居宅介護	有限会社ハートフルハウス
3	7月2日	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	社会福祉法人 愛知たいようの杜
4	10月29日	楽家晴	小規模多機能型居宅介護	有限会社ハートフルハウス
5	10月29日	楽居暮	住居型有料老人ホーム	有限会社ハートフルハウス
6	11月10日	ぼちぼち長屋	多世代共同住宅	社会福祉法人 愛知たいようの杜
7	11月11日	ゴジカラ村	デイサービス・ケアハウス	社会福祉法人 愛知たいようの杜
8	11月12日	嬉楽家	グループホーム	社会福祉法人 愛知たいようの杜
9	11月12日	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	社会福祉法人 愛知たいようの杜
10	11月26日	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	社会福祉法人 愛知たいようの杜
11	11月26日	楽家晴	小規模多機能型居宅介護	有限会社ハートフルハウス
12	12月4日	ほほえみの会（東小校区）	障がいのある方による余暇サロン	長久手市社会福祉協議会
13	12月17日	楽家晴	小規模多機能型居宅介護	有限会社ハートフルハウス



令和3年度 児童館等音楽デリバリー事業 事業報告

◎文化庁補助事業

市内児童館各所に音楽系創造スタッフが演奏に訪問し、児童館利用者にコンサートを提供した。未就学児の多くは初めての生演奏体験となった。保護者には、子どもと楽しめるコンサートが子育ての息抜きの時間となり、長久手市で子育てをすることへの充実感につながった。今年度より、舞踊系創造スタッフの林友里菜も事業に加わり、音楽に合わせてダンスを披露する場面も設けることができ、より広い芸術鑑賞の機会を創出することができた。

出演者	弓立翔哉（パーカッション 創造スタッフ） 小田智之（ピアノ・作曲 創造スタッフ） 林友里菜（コンテンポラリーダンス 創造スタッフ）
-----	---

	日程	訪問場所	参加者数
1	7月14日	青少年児童センター	親子約20組
2	10月14日	上郷児童館	親子10組
3	10月14日	市が洞児童館	約30人
4	11月10日	アートケアチャイルド	約30人
5	11月11日	南児童館	親子10組
6	12月22日	西保育園	約30人



3 シネマ倶楽部事業

長久手市文化の家では、市民団体「シネマ倶楽部」が作品選定から上映会当日の運営まで行い、月に1回シネマの楽しみ（映画上映会）を開催しています。

上映日	時間	上映作品	入場者
4月8日（木）	10:00	或る夜の出来事	39
	14:00		35
5月13日（木）	10:00	自転車泥棒	33
	14:00		27
6月10日（木）	10:00	トロッコ	39
	14:00		35
7月8日（木）	10:00	市民ケーン	36
	14:00		38
8月21日（土）	10:00	有料上映「ワンダー君は太陽」	40
	14:00		40
9月9日（木）	10:00	西部戦線異状なし	39
	14:00		29
10月14日（木）	10:00	シェーン	37
	14:00		32
11月11日（木）	10:00	地獄門	36
	14:00		38
12月9日（木）	10:00	大いなる幻影	35
	14:00		37
2022年 1月14日（木）	10:00	レベッカ	36
	14:00		35
2月10日（木）	10:00	Little DJ～小さな恋の物語	27
	14:00		28
3月19日（土）	10:00	有料上映「ねことじいちゃん」	33
	14:00		36
合計			840

※感染症対策のため、定員を40人として開催

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	キッズ・サマー・シネマ 「ワンダー 君は太陽」		
日時	令和3年8月21日（土） ①10時00分開演、②14時00分開演		
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	市民参画事業		
出演者	ジュリア・ロバーツ、オーウェン・ウィルソン、ジェイコブ・トレンブレイ		
公演内容	スティーブン・チョボスキー監督 「ワンダー 君は太陽」 (2017年/アメリカ)		
入場者数	①40 ②40	席設定 ①40 ②40	入場率 100.0%
チケット	500円（前売） 500円（当日）		
支出	【委託費】		165,880円
	【印刷製本費】	チラシ5,000部	17,193円
	計		183,073円
収入	【入場料】		41,500円
	計		41,500円
回収率			22.7%
アンケート結果	<p>思ったより部屋が小さかった。いい映画だったので、もっとたくさんの人に見てもらってよいと思う。（市内、40代男性）</p> <p>このイベントは初めてだった。「人間とは何か」改めてそれを考えさせられた。長久手の文化的施設、市民の皆様に感謝！（市外、男性）</p> <p>とてもいい映画だった。本を読んだので内容は知っていましたが感動した。（市内、40代女性）</p> <p>かんどうしてすごくいい。（市内、9歳以下女性）</p>		
担当者コメント	<p>シネマ倶楽部のメンバーが、夏休み中、子ども達にも楽しんでもらえる映画をと、試写、会議を繰り返し選定した作品。毎月開催している「シネマの楽しみ」の常連客や、4人で観に来たという家族連れ何組かがおとずれた。今後も、有料、無料ともに市民に楽しんでもらえる作品を選定していきたい。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 シネマで逢いましょう「ねことじいちゃん」

日時 令和4年3月19日（土） ①10時00分開演、②14時00分開演

場所 長久手市文化の家 光のホール

事業の種類 市民参画事業

出演者 立川志の輔、柴咲コウ、柄本佑、ほか

公演内容 岩合光昭監督
「ねことじいちゃん」
(2019年／日本)

入場者数 ①33 ②36 席設定 ①40 ②40 入場率 86.3%

チケット料金 (前売) 500円
(当日) 500円

支 出		委託費	165,800円
		印刷製本費	8,429円
		計	174,229円

収 入		入場料	34,500円
		計	34,500円

回収率 20.8%

アンケート結果

死が近くなった自分。人生の様々なシーンを思い出し、涙が出た。皆に勧めたい映画だった。
 (市内、80代女性)

感動的だった。映像も音楽も素敵で、我が身の今後についても考えさせられた。(市外、80代女性)

登場人物と猫がよく描かれていて、心温まる映画だった。猫が好きになりそうだ。(市外、70代男性)

担当者
コメント

年に2回行う有料映画会。今回は、コロナ禍で殺伐としている世の中で、観客にほっこりしていただきたいという思いから、シネマ倶楽部が試写を重ねて作品を選定した。「岩合監督」と「ネコ」というキーワードで、無料映画会「シネマの楽しみ」に参加していない客層が多く集まった。また、市内保護ネコ団体「にゃんこサポート」に協力してもらい、保護活動についての説明会を行った。シネマ倶楽部の狙いどおり、温かい気持ちになったという感想が多く聞かれた。



5 アートスクール

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面でのアートスクール講座は中止。令和3年度は、1年ぶりに対面でのアートスクール講座開講となった。感染症対策のため、アトリビング諸施設の定員に制限が設けられたため、一部講座において、例年と異なる会場で開講となった。

令和3年度長久手市文化の家アートスクール 長期講座

	講座名	講師	回数	定員	受講者数			主な会場
					全体	市内	市外	
1	フルーツアンサンブル (初級者向け)	妹尾寛子	15	12	8	3	5	音楽室
2	フルーツアンサンブル (中級者向け)	妹尾寛子	15	12	9	4	5	音楽室
3	チェロアンサンブルの愉 しみ	高木俊彰	16	15	15	5	10	展示室 美術室
4	絵画	チェユンジョン	17	15	6	1	4	美術室
5	デッサン+アート	チェユンジョン	17	15	15	5	10	美術室
6	クラシックギター	山田陽介	15	12	12	8	4	音楽室
7	ジュニア弦楽アンサン ブル講座	横田真規子	20	14	11	4	7	音楽室
8	子ども美術・造形	斉藤誠	13	15	15	15	0	美術室
9	子どもクラシックバレエ (小1・小2)	中谷友香	21	22	9	7	2	舞踊室
10	子どもクラシックバレエ (小3～中学生)	中谷友香	21	22	6	4	2	舞踊室
11	大人クラシックバレエ	中谷友香	21	26	12	7	5	舞踊室
12	戯曲セミナー～心に届く 生きた台詞～	はせひろいち	13	30	12	1	11	講義室2
合計			204	210	129	64	65	

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	アートスクール戯曲セミナー優秀短編上演会		
日時	令和4年3月12日（土）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	空沢しんか（劇団ジャブジャブサーキット）、青木謙樹（星の女子さん）、森本涼平（タツノオトシドコロ）、高橋ケンヂ（劇団ジャブジャブサーキット）、黒川ゆかり（受講生）、橋本恒司（受講生/劇団天白月夜）、すぎうらまこ（星の女子さん）、渡山博崇（星の女子さん）、太田竜次郎（劇団エンジン）、林優花（劇団ジャブジャブサーキット）、中川敦暉（愛知学院大学演劇部”鯨”）、二瓶翔輔（フリー）、石川朋未（受講生）		
公演内容	石川朋未『待ち合わせの場所』 台越竜太郎『ドメスティック・ディスタンス』 池田春花『真昼の月は鏡に映るか』（戯セミ2019リベンジ作品） 田村優太『地獄の職場』（戯セミ2019リベンジ作品）		
入場者数	70	席設定 150	入場率 44.9%
支出			委託費 500,000円
			計 500,000円
収入	無料公演のため入場料収入なし		0円
	計		0円
回収率			0.0%

アンケート結果 時間もちょうどよくて無料で観れるのは有難すぎ！また行きたい。（市内、30代女性）
4作品、バラエティーに富んで個性あふれる作品ばかりで面白かったです。（市外、50代男性）
コロナ禍ですが実際にライブで見ることができてよかったです。（市内、50代女性）

担当者コメント 戯曲セミナーの参加者による完成作品の発表会。セミナーを受講してきたみなさんにより、非常にレベルの高い作品が制作できた。セミナー参加者とは思えない戯曲に仕上がっており、講座が活かされていた。来場者からも非常に評価の高いコメントが多く、無料ではもったいないという声すら聞くことができた。今後は若い世代にもたくさん興味をもってもらえるような仕掛けをしていきたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 対話型鑑賞ワークショップ（日東工業社員向け体験版）

日時 令和3年8月12日(木) 午後2時

場所 長久手市内（日東工業本社）

事業の種類 普及・啓発事業

講師 川北真紀子、藤島えり子

公演内容 一つの芸術作品について、他者の考えを否定する事なく認め合いながら対話を進めることにより、コミュニケーション力向上を目指す。
今回は、市内に本社がある日東工業社員向けに体験版を行った。

入場者数 12 席設定 15 入場率 80.0%

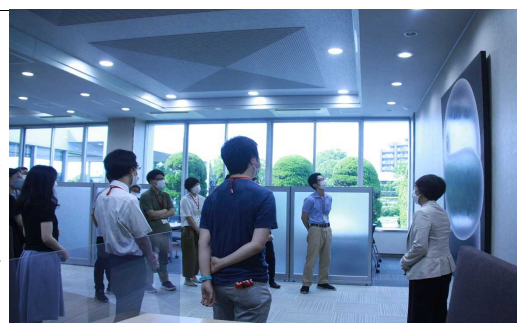
支 出	【委託費】	講師委託料	20,000円
	計		20,000円

収 入	【入場料】	無料事業のため	0円
	計		0円

回収率 0.0%

アンケート結果 会社内でもこのような活動を通して個性を生かせる会社をしたい。（市外40代女性）
主観的価値観を拡大させる場として、自分を見つめ直す機会を得られた。一つの方向から物事を見る意識から自発的に多角視点を取り組もうと思えた。（市内20代男性）
人はそれぞれ思うところがあり、それを一旦聞くというところから対話ははじまると学んだ（どうしても自分と違うと否定してしまう世の中なので）（市外50代女性）

成 果 長久手市内に本社がある日東工業の協力により、日東工業本社で働く方々を対象に、コミュニケーション力向上を目的としたWSを行った。体験版のため、1日限りの開催とした。講師は、すべての参加者が「対話」できるように配慮した。参加者の中には、「自発的に多角視点を取り組もう」「個性を生かせる会社」という感想もあった。この講座は、日東工業にとっては社員のコミュニケーション能力向上、文化の家としては芸術鑑賞を通じた社会的効果の紹介ができた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	ダンスであそぶワークショップ はずむココロはずむカラダ		
日 時	令和3年8月9日（月）	①11:00開始、②14:00開始	
場 所	長久手市文化の家 舞踊室		
事業の種類	鑑賞・体験事業(子ども)		
出演者	創造スタッフ 林友里菜 松林 由華		
公演内容	<p>身体と心をやわらかくする、ダンスで遊ぶワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケンケン遊び、手遊び、全身ジャンケン ・風になってみよう、海になってみよう など 		
入場者数	14組(38人)	20組	入場率 70.0%
支 出	【委託費】		
	報償費		15,000円
	計		15,000円
収 入	【入場料】		
		無料のため	0円
		計	0円
回 収 率			0.0%
アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> ・初めから終わりまで飽きさせないプログラムで楽しめた。（市外30代女性、子5歳） ・恥ずかしがり屋の子が人前で体を動かしてよかった。（市内50代女性、子9歳） ・今回のような子ども向け企画をまた企画してほしい。（市内60代女性、子5歳） ・子どもが飽きずに楽しんでいて良かった。全身使って楽しく遊べた。（市内30代男性、子6歳） 		
担当者コメント	<p>ソーシャルディスタンスを上手に保ちながら、講師がプログラムを工夫して、子どもたちの集中力が途切れないように考えられていた。親子でたっぷりふれあいながら、子どもたちは夢中で体を動かし、いつの間にかそれが表現になっていて、自然な流れができてよかった。今後はこのようなワークショップからコンテンポラリーダンス公演鑑賞などにつなげていきたい。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 対話型鑑賞ワークショップ（市職員・教員向け体験版）

日時 令和3年8月12日(木) 午前10時

場所 長久手市文化の家 講義室2

事業の種類 普及・啓発事業

出演者 川北真紀子、藤島えり子

公演内容 対話型鑑賞とは、芸術作品を鑑賞し感じたことを中心に他者と対話を行うこと。他者の考えを否定する事なく認め合いながら対話を進めていくことにより、コミュニケーション力等をの上昇を目的とする。
今回は、市職員、市内小中学校教員向けに体験版を行った。

入場者数 15 席設定 15 入場率 100.0%

支出	【委託費】	講師委託料	20,000円
	計		20,000円

収入	【入場料】	無料講座のため	0円
	計		0円

回収率 0.0%

アンケート結果 多様な見方、意見があることのすばらしさを認識した。アートだけではなく、日々の生活や仕事でも大切にしたい。（市内30代男性）
一つの作品で沢山の見方があることを知り、とっても楽しかった。他の方の説明を聞き伝える力って難しいと思った。私も伝え上手になりたい。（市外20代女性）
とても面白く参加できた。学校現場でいろいろ活用出来そう。教員もたくさん参加出来るとよいが、電話申込のみだとほとんどの教員は申込み出来ない。（市外40代女性）

成果 市職員、教員対象ということで、講師には「この講座は多様な見方を学ぶことより、コミュニケーション能力などに生かれます」という点を伝えることを重視していただいた。この講座で、いろんな人がいることを知ることは、様々な人と接する機会のある市職員及び教員にとって重要なことだという企画意図が伝わったと考えられる。教員の参加者募集の際は、募集時期や方法等について学校関係者と協議しておく必要があることがわかった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 文化と地域デザイン講座～長久手市編～

日時 令和3年8月20日(金) 18時30分 開演

場所 長久手市文化の家 風のホール

事業の種類 アートのまち創造事業

出演者 松本茂章（聞き手・コーディネーター）、森口ゆたか（ゲスト）

公演内容 講演「医療現場で芸術を展開する／ホスピタルアートの可能性」
本講座は、文化芸術の施策が観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等の各分野と横断的に実施することを求められている中で、全国の先進的な事例を当事者を招いて紹介するものである。

入場者数 17 席設定 40 入場率 42.5%

支 出	【委託費】	100,000円
	【印刷製本費】	チラシ印刷費 5,367円
	計	105,367円

収 入	【入場料】	無料公演のため 0円
	計	0円

回収率 0.0%

アンケート結果 全国配信はありがたいです。未知の分野のお話を聴けて有意義でしたし、文化の家にも興味を持ちました。（50代男性 オンライン・福岡県）
アート＝人間の技・工夫という幅の広さを持ったものであることを初めて知りました。非常に視野が広がりました。（30代女性 会場・市内）

成果 初回として、市内には愛知県内でも有数の大学病院があることから、医療現場での芸術活動の展開を紹介する講座とした。オンライン配信を実施し、全国各地から延べ153名が視聴し、文化の家の周知にも繋がった。会場とオンラインの双方で質疑応答を受け多くの質問が出た。医療関係者の参加もあり、医療分野にも芸術の必要性を訴えることができた。現地での参加者が少なかったことから、次回開催までに更なる広報活動が必要と感じた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手わくわく歌舞伎トーク		
日時	令和3年10月23日（土）	10時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	おくだ健太郎		
公演内容	『歌舞伎ソムリエ』によるトークショー		
入場者数	36	席設定 41	入場率 87.8%
チケット	一般1,000円、大学生以下500円（前売） 一般1,000円、大学生以下500円（当日）		
支出	【委託費】		70,000円
	チラシ印刷費		10,189円
	計		80,189円
収入	【入場料】		39,500円
	計		39,500円
回収率	56.4%		

大変興味深く良い公演だった。今後もこういったことを続けて欲しい。（市外、20代男性）
 久しぶりの、おくだ節、やっぱり楽しかった！題材の歌舞伎の三座も興味深く聞かせて頂いた。そしてアンケート結果 プロ野球と例えていて、分かりやすかった。（市外、60代女性）
 歌舞伎をみたコトは無いが、楽しめた。Netflixで出ていた歌舞伎役者さんもステキだったので歌舞伎を見に行ったら会場の雰囲気とかも楽しみたいと思った。（市内、20代女性）

全国各地で歌舞伎講座の講師を務める歌舞伎ソムリエ、おくだ健太郎氏による歌舞伎トーク。初心者には、歌舞伎の魅力に触れ、興味をもつきっかけとなった。歌舞伎を良く知っている人にとっては、裏話を知ることで、さらなる魅力を開拓できたのではと思われる。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	文化と地域デザイン講座～長久手市編～		
日 時	令和3年11月5日(金)	18時30分 開演	
場 所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	アートのまち創造事業		
出演者	松本茂章 (聞き手・コーディネーター) 平竹耕三 (ゲスト)		
公演内容	<p>観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等の幅広い各分野との横断的な文化芸術の施策を紹介するとともに、専門家や先進地である自治体からゲストを招く講座シリーズの2回目。</p> <p>テーマ：公立文化施設が「まち」を変える／京都会館からロームシアター京都へ</p> <p>ゲスト：平竹耕三（京都産業大学教授、KYOTO STEAM-世界文化交流祭-プロデューサー）</p>		
入場者数	来場：18 オンラインライブ 視聴：50	席設定	40
支 出	【委託費】		100,000円
	計		100,000円
収 入	【入場料】		無料公演のため入場料収入なし
	計		0円
回 収 率			0.0%
アンケート結果	<p>私自身も某市職員ですが、条例改正も厭わず理想の運営形態を追求していかれたところにあためて感銘を受けた。豊かな文化の実現のためにはそうでなければならない。(50代・女性 オンライン・新潟市)</p> <p>観光を中心に考えるか、地域での在り方を中心に考えるかで建物自体の役割やつくりが変化することが面白いと感じた。(20代・女性 オンライン・京都市)</p>		
成 果	<p>文化施設（劇場）改修にあたり、市民や地域企業との関わりや文化施設としての地域への開き方を変えることで、まちを変える文化施設になることを発信した。今回も前回に引き続き、オンライン配信を実施した。宮城県から熊本県まで県外各所から約140名の申し込みがあり、文化の家の周知にも繋がった。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	文化と地域デザイン講座～長久手市編～		
日時	令和4年1月7日(金)	18時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	アートのまち創造事業		
出演者	松本茂章 (聞き手・コーディネーター) 鬼木和浩 (ゲスト)		
公演内容	<p>観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等の幅広い各分野との横断的な文化芸術の施策を紹介するとともに、専門家や先進地である自治体からゲストを招く講座シリーズの3回目。</p> <p>テーマ：未来の公立文化施設はどうなっていく？/岐路に立つ指定管理者制度</p> <p>ゲスト：鬼木和浩（横浜市文化振興課長（主任調査員））</p>		
入場者数	来場：12 オンラインライブ 視聴：52	席設定	40
支出	【委託費】	50,000円	
	計	50,000円	
収入	【入場料】	無料公演のため収入なし	
	計	0円	
回収率			0.0%
アンケート結果	<p>今後も定期的に見直したい内容であった。（オンライン・宮城県石巻市 30代男性）</p> <p>なくてはならない文化の家を市民や行政に広め、認識していかないといけないとあらためて感じた。市民と行政が深く考えなければいけないテーマだと思う。（現地・市内 50代女性）</p>		
成果	<p>指定管理者制度を積極的に導入している自治体の中でも主任調査員を配置している横浜市の指定管理者制度の考え方、制度導入において工夫している点について取り上げた、指定管理導入の際の手本となるような講座であった。コーディネーターが指定管理者制度について行政・財団・民間それぞれの視点から質問をしたことで、直営と指定管理それぞれのメリットデメリットが浮かび上がった。</p>		



2

長久手市文化の家に関する情報・データ

1 長久手市文化の家について

長久手市文化の家は、市内の文化活動の拠点となるべく1998年（平成10年）7月15日に開館しました。舞台公演から式典、集会まで幅広く対応できる可変式の「森のホール」とシンプルでオーソドックスな形式の「風のホール」、さらに実習・練習機能や情報・交流機能を備えた芸術文化空間「アトリビング」からなる総合文化施設です。

文化の家の命名は、“市民全体の「家」となってほしい”、“市民が「我が家」を感じるような親しみ深い施設になってほしい”という願いと、20世紀中頃フランスで起こった地方からの文化発信運動「文化の家運動」に因んでいます。開館以来、長久手市文化マスタープラン（1998年第一次、2007年第二次、2018年第三次策定）に基づき行ってきた自主事業の数々の取組は、地方自治体の文化行政における先駆けとして全国的に評価され、2006年には愛知県内の施設として初めてJAFRAアワード（総務大臣賞）を受賞しました。

そして現在、長久手市はすべての市民に役割と居場所がある「日本一の福祉のまち」を目指しています。市内人口約1%を芸術家が占める「アートのみち・長久手」として、人と人を結びつける文化・芸術の力で、市民のみなさまと「ともに創る、きらめく長久手」の実現に取り組んで参ります。

施設概要	所在地	480-1166 愛知県長久手市野田農 201 番地
	敷地面積	24,783.69 m ²
	建物面積	7,894.54 m ²
	延床面積	17,488.09 m ²
	構造種別	SRC 造、RC 造及び S 造
	階数	地上3階、地下2階
主要施設	ホール施設	森のホール(384～717 席)
		風のホール(194 席又は 292 席)
	アトリビング	光のホール(82 席)、展示室
		音楽室、音楽スタジオ、小音楽室
	舞踊室、美術室、食文化室、多目的室	
	暗室、会議室(5 室)、講義室(2 室)、和室(2 室)	
森のホール	コンサートや演劇、舞踊といった舞台公演から式典、集会まで幅広く対応することができる最大 717 席のホールです。客席は、舞台が見やすいように馬蹄形になっており、舞台と客席の一部が可動式です。プロセニウムアーチが前後に移動することで、さまざまな舞台空間を作り出すことができます。	
風のホール	292 席の固定席を持つシンプルでオーソドックスなホールです。主に演劇、舞踊対応のホールですが、プロセニウムアーチの後ろに可動式の音響反射板を備え、小規模コンサートやピアノ発表会などにも利用することができます。音響反射板を利用した場合、客席は 194 席になります。	

沿革

1998年	7月	長久手町文化の家開館
1999年	8月	第1回長久手地域演劇祭開催
2000年	9月	第1回長久手国際オペラ声楽コンクール開催
	11月	入館者100万人達成
2001年	4月	川上實館長就任
2005年	6月	エデュケーションプログラム「であーと」開始
2006年	7月	ガレリアコンサート開始 ステージ・ラボ（長久手会場）開催
2007年	1月	JAFRA アワード（総務大臣賞）を愛知県内で初受賞 入館者500万人達成
	11月	ながくてアートフェスティバル開催。
2008年	10月	開館10周年記念公演 秋吉敏子ジャズトリオ公演開催
2012年	1月	市制施行、長久手市文化の家となる。
	7月	coba produced 長久手応援ソング4曲初演
2015年	10月	情報誌「ハレとケ」vol.1刊行
2017年	2月	大規模改修工事（2～6月）
2017年	6月	リニューアル・オープン内覧会 オフィス改革（フリーアドレス導入）
	7月	リニューアル記念公演 川上ミネ ピアノ & トークコンサート with サンドウィッチマン
2018年	3月	文化芸術マスタープラン策定（第三次）
	4月	市民館長就任（広中省子）
2019年	4月	フランチャイズアーティスト制度開始 ふくし（社会包摂）事業開始
	12月	アーカイブ・プロジェクト開始
2020年	3月	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策のため臨時休館
2020年	4月	動画プロジェクト開始
2020年	6月	感染症対策を講じた上で、利用再開

2 組織体制

(2022年3月31日現在)

長久手市くらし文化部

部長
浦川 正

次長
磯村 和慶

事務局

館長
靱山 勝人

管理係長
山田 伸恵

専門員
石野 俊匡

主任
市野 華奈子

倉本 麻記

館長補佐
生田 創

事業係長
(生田 創)

専門員
水谷 一義

主事
松浦 良平

内田 眞由美

主任
千葉 あい

主任
黒野 雅直

水間 芽利

主任
下谷 憲己

主事
福島 梓

山本 宗由

主任
野田 悠子

水野 利香

坂元 奈未

チラシ等デザイナー

石川 綾乃

文化の家創造スタッフ (五十音順)

演劇系
大脇 ぱんだ

音楽系
小田 智之

美術系
小西 祐矢

美術系
小林 大地

舞踊系
林 友里菜

音楽系
弓立 翔哉

長久手市文化の家運営委員会

委員長
梶田 美香

委員
12人

文化の家フレンズ

会長
水野 美々子

個人会員
125人

3 来館者数

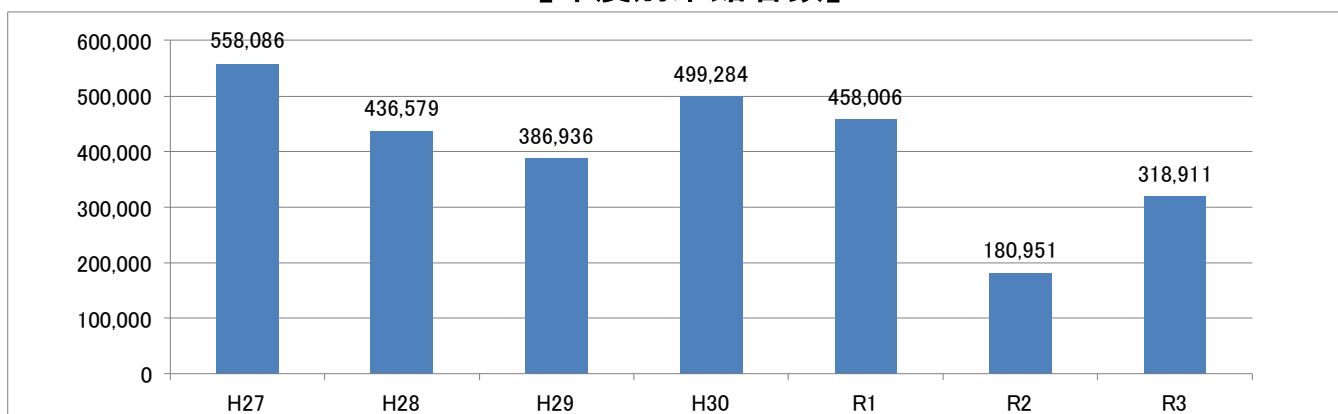
文化の家来館者数(令和3年度実績)

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
令和元年度	39,001	39,589	42,169	39,115	44,022	35,434	40,558	43,243	38,321	39,138	42,824	14,592	458,006	38,167
2年度	3,961	3,368	9,271	11,616	9,692	14,866	19,580	17,956	20,037	18,042	27,038	25,524	180,951	15,079
3年度	27,470	22,933	23,799	25,117	22,070	25,415	28,934	32,339	25,428	24,504	30,668	30,234	318,911	26,576

開館から令和4年3月末までの総合計 11,438,705 人

【年度別来館者数】



4 文化の家施設稼働状況

施設名 (色付きは 時間貸し施設)	稼働率(令和3年4月～令和4年3月)					
	午前	午後	夜間	全体 (令和3年 4月～3月)	全体 (令和2年 4月～3月)	全体 (平成31年 4月～3月)
森のホール	66.4% (170 / 256)	69.1% (177 / 256)	47.7% (122 / 256)	75.4% (193 / 256)	59.9% (127 / 212)	72.7% (181 / 249)
風のホール	64.8% (166 / 256)	74.6% (191 / 256)	44.9% (115 / 256)	77.7% (199 / 256)	77.4% (164 / 212)	78.3% (195 / 249)
光のホール	39.5% (121 / 306)	52.3% (160 / 306)	28.8% (88 / 306)	63.1% (193 / 306)	50.2% (111 / 221)	63.5% (190 / 299)
展示室	63.1% (193 / 306)	66.3% (203 / 306)	53.6% (164 / 306)	73.5% (225 / 306)	52.9% (117 / 221)	74.6% (223 / 299)
舞踊室	87.3% (267 / 306)	88.9% (272 / 306)	70.6% (216 / 306)	97.1% (297 / 306)	91.0% (201 / 221)	97.7% (292 / 299)
音楽室	81.4% (249 / 306)	85.6% (262 / 306)	80.4% (246 / 306)	98.0% (300 / 306)	97.9% (137 / 140)	98.3% (294 / 299)
小音楽室	73.9% (226 / 306)	92.8% (284 / 306)	88.2% (270 / 306)	99.7% (305 / 306)	76.5% (169 / 221)	97.3% (291 / 299)
音楽スタジオ	56.9% (174 / 306)	75.8% (232 / 306)	60.5% (185 / 306)	93.8% (287 / 306)	49.3% (69 / 140)	91.8% (267 / 291)
美術室	90.2% (276 / 306)	72.2% (221 / 306)	30.4% (93 / 306)	88.9% (272 / 306)	81.5% (207 / 254)	83.6% (250 / 299)
多目的室	62.7% (192 / 306)	81.0% (248 / 306)	73.2% (224 / 306)	98.0% (300 / 306)	96.5% (245 / 254)	94.3% (282 / 299)
暗室	9.5% (29 / 306)	9.8% (30 / 306)	7.2% (22 / 306)	10.5% (32 / 306)	4.0% (13 / 164)	23.1% (69 / 299)
和室 1	64.7% (198 / 306)	33.7% (103 / 306)	12.7% (39 / 306)	79.1% (242 / 306)	65.7% (167 / 254)	65.9% (197 / 299)
和室 2	55.6% (170 / 306)	38.9% (119 / 306)	10.1% (31 / 306)	73.5% (225 / 306)	63.8% (162 / 254)	70.2% (210 / 299)
食文化室	33.3% (1252H / 3758H)			71.6% (219 / 306)	44.5% (113 / 254)	83.5% (243 / 291)
講義室 1	59.0% (2217H / 3758H)			96.7% (296 / 306)	94.1% (239 / 254)	94.0% (281 / 299)
講義室 2	66.2% (2489H / 3758H)			98.7% (302 / 306)	94.1% (239 / 254)	92.6% (277 / 299)
会議室 1	54.7% (2056H / 3758H)			93.8% (287 / 306)	85.1% (188 / 221)	94.6% (283 / 299)
会議室 2	47.2% (1774H / 3758H)			87.3% (267 / 306)	78.3% (173 / 221)	89.0% (266 / 299)
会議室 3	51.9% (1949H / 3758H)			91.5% (280 / 306)	84.2% (186 / 221)	90.0% (269 / 299)
会議室 4	55.4% (2083H / 3758H)			83.7% (256 / 306)	85.5% (189 / 221)	96.9% (282 / 291)
会議室 5	56.2% (2113H / 3758H)			89.2% (273 / 306)	85.1% (188 / 221)	97.6% (284 / 291)

※食文化室、講義室1・2、会議室1～5は時間貸し対応施設

5 決算状況

(1) 令和3年度文化の家歳入

(単位：円)

款	項	目	節	収入額	内訳
13 使用料及び手数料	1 使用料	7 教育使用料	8 文化の家使用料	32,628,755	施設使用料 31,404,470 レストラン等使用料 1,224,285
	2 手数料	1 総務手数料	2 戸籍住民票手数料	186,000	住民票手数料 95,200 印鑑証明手数料 90,800
14 国庫支出金	2 国庫補助金	5 教育費 国庫補助金	3 社会教育費 補助金	19,084,089	文化芸術振興費補助金 1,894,000
16 財産収入	1 財産運用収入	1 財産貸付収入	1 土地及び 建物貸付収入	1,945,872	建物貸付収入 1,945,872
20 諸収入	4 雑入	1 雑入	7 教育雑入	15,244,217	瀬戸信用金庫 地域振興協力基金助成金 2,771,000 公衆電話委託手数料 310 事業入場料 5,182,148 コピー代 39,990 公衆電話使用料 1,600 アートルビング講座受講料 2,104,000 レストラン光熱水費 731,169 劇場・音楽堂等 機能強化推進事業補助金 4,164,000 あいちオーケストラ フェスティバル運営協力費 250,000
歳入計					51,898,844

(2) 令和3年度文化の家歳出

(単位：円)

区分	支出額	内訳	
1 報酬	10,233,612	会計年度任用職員報酬	10,233,612
2 給料	45,185,120	一般職給料	45,185,120
3 職員手当等	33,308,923	職員手当等	31,400,488
		会計年度任用職員期末手当	1,908,435
4 共済費	15,064,480	地方公務員共済組合負担金等	15,064,480
7 報償費	6,418,400	文化の家運営委員会等報償金	131,400
		講座・講演等報償金	4,337,000
		市長賞受賞者報償金	150,000
		事業アドバイザー報償金	1,800,000
8 旅費	340,180	普通旅費	16,840
		特別旅費	47,380
		会計年度任用旅費	37,560
		会計年度任用職員通勤費	238,400
10 需用費	51,804,481	消耗品費	3,189,358
		燃料費	35,409
		食糧費	18,946
		印刷製本費	2,125,115
		光熱水費	29,963,692
		修繕料	16,471,196
		医薬材料費	765
11 役務費	3,610,216	通信運搬費	2,092,154
		広告料	334,400
		筆耕翻訳料	40,000
		火災保険料	155,099
		自動車損害保険料	43,470
		損害保険料	377,300
		自動車点検手数料	19,030
		手数料	548,763
12 委託料	158,339,819	電気保安管理業務委託	1,325,280
		舞台管理業務委託	26,504,000
		舞台関係保守点検委託	16,195,300
		施設管理業務委託	81,039,747
		ピアノ保守点検委託	608,300
		除草等委託	1,599,611
		音楽スタジオ備品保守点検委託	33,000
		建築設備定期検査委託	440,000
		光のホール映像設備保守点検委託	356,400
		プリンタ複合機等保守点検委託	399,036
		建物内抗菌コーティング業務委託	2,681,800
		Wi-Fi環境整備業務委託	3,450,370
		施設予約システム改修委託	110,000
		高所作業台保守点検委託	261,047
		創造スタッフ委託	3,300,000

		事業・公演等委託	19,128,449
		看板作成委託	176,000
		公演撮影委託	240,000
		広報ながくて同時配布委託	170,181
		展示物管理委託	321,298
13 使用料及び賃借料	3,713,512	道路通行料	24,100
		放送受信料	45,871
		A E D 賃借料	51,480
		コピー機使用料	941,719
		文化の家ホームページサーバ賃借料	17,092
		文化の家ホームページ用ドメイン使用料	4,312
		オンラインサービス使用料	28,500
		マット等借上料	38,340
		印刷機賃借料	169,752
		電話交換機賃借料	95,832
		施設予約システム等利用料	1,726,980
		著作権使用料	37,662
		ライセンス使用料	101,112
		大道具等借上料	99,000
		映画観賞会フィルム借上料	331,760
14 工事請負費	5,424,100	植栽管理工事	5,424,100
15 原材料費	5,650	原材料費	5,650
17 備品購入費	1,206,040	事務用備品	872,740
		事業用備品	333,300
18 負担金、補助及び交付金	60,000	公立文化施設協議会負担金	36,000
		日本舞台音響家協会負担金	9,000
		日本照明家協会負担金	15,000
22 償還金、利子及び割引料	238,880	返還金	238,880
26 公課費	5,000	重量税	5,000
歳出計			334,958,413

6 視察等対応

受入団体等一覧

月日	視察者及び目的	人数
6月16日	西尾市文化振興課	2
	目的 施設予約システムについて	
7月1日	豊明市民協働課	2
	目的 施設の貸館管理について	
3月11日	岡山芸術創造劇場	2
	目的 施設予約システムについて	

インターンシップ研修受入実績一覧

期間	所属	人数	研修内容
6月1日から 9月30日まで (4か月間)	公益財団法人 豊田市文化振興財団	1	事業制作、広報・マーケティングに関する こと、施設環境の維持に関すること
8月17日から 8月19日まで (3日間)	愛知淑徳大学	2	事業立案に関する座学、自主事業公演補 助、舞台公演仕込み体験、職員座談会等
2月8日から 2月10日まで (3日間)	愛知淑徳大学	2	事業立案に関する座学、自主事業公演補 助、舞台公演仕込み体験、職員座談会等
3月4日から 3月6日まで (3日間)	愛知淑徳大学	2	事業立案に関する座学、自主事業公演補 助、舞台公演仕込み体験、職員座談会等

7 職員による諸活動

日付	活動内容	職員
4月3日	クーテシガーナキッズダンス隊発表会(舞台照明プラン)	靱山勝人
4月22日	愛知県公立文化施設協議会総会セミナー(プレゼンター)	靱山勝人
4月28日	愛公文セミナーⅠ(モデレーター)	靱山勝人
5月29日	令和3年度第1回碧南市芸術文化ホール指定管理者審査委員会(指定管理者審査委員)	靱山勝人
7月4日	豊中市立文化芸術センター主催アートマネジメント講座(講師) アウトリーチの事例紹介(Zoom)	生田創
7月13日	名古屋大学講義(講師) 文化の家の取組・創造スタッフの紹介(風のホール/オンライン+聴講)	生田創
7月26日	名古屋芸術大学(講師) アートマネジメント講義、文化の家の取組紹介	生田創
7月29日	愛公文セミナーⅡ(モデレーター)	靱山勝人
8月26日	2021年度愛知県文化活動事業費補助金補助対象事業審査会(企画審査会委員)	靱山勝人
9月4日	クーテダンスコンテスト(審査員)	靱山勝人
10月11日	中部楽器技術専門学校(講師) 楽器の仕組み、アートマネジメント	生田創
10月14日	愛公文セミナーⅢ(モデレーター)	靱山勝人
	愛公文セミナーⅢ(講師) 自主事業の企画と予算について	生田創
10月26日	南山大学講義(講師) 文化の家の取組・創造スタッフ紹介(風のホール/オンライン)	生田創
11月6日	(公財)音楽文化創造主催地域音楽コーディネーター養成講座ワーキング(講師/Zoom)	生田創
11月12日	福岡県大野城市 市役所職員研修(講師) 文化の家福祉事業の事例紹介(Zoom)	黒野雅直

11月13日	令和3年度第2回碧南市芸術文化ホール指定管理者審査委員会（指定管理者審査委員）	靱山勝人
12月19日	日本アートマネジメント学会第23回全国大会（会場：宝塚市立宝塚文化創造館） 研究発表「地域の劇場におけるアーカイブズの構築～長久手市文化の家を事例として～」	山本宗由 生田創
12月19日	同上 研究発表「SPACの出張アウトリーチ」	生田創ほか
12月27日	令和3年度文化庁委託「劇場・音楽堂への芸術文化活動支援」熊本県宇土市（支援員）	靱山勝人
1月17日	令和3年度文化庁委託「劇場・音楽堂への芸術文化活動支援」熊本県宇土市（支援員）	靱山勝人
1月18日	南山大学講義（講師） 文化の家の取り組み・創造スタッフの紹介（南山大学フラッテンホール）	生田創
1月20日	令和3年度愛知県劇場職員セミナー（パネリスト）	靱山勝人
2月6日	日本音楽芸術マネジメント学会 研究発表「文化の家のアウトリーチ」	生田創
3月13日	愛知県豊田市民文化会館 TAG ダイアログトークイベント「福祉とアート」（講師） 文化の家福祉事業の事例紹介	黒野雅直

8 広報・情報関連報告

■ ケーブルテレビ（ひまわりネットワーク「Weekly ながくて」）放映

放映日	コーナー名	内容
4月26日	ながくてまち便り	クーテシガーナキッズダンス隊 第7期生発表会
5月24日	ニュース	美しきアイルランド音楽 光と陰の旋律
6月28日	ニュース	没後50年ストラヴィンスキー 春の祭典
7月19日	ニュース	声楽アンサンブル演奏会
7月26日	ながくてまち便り	であーと（南中学校）
8月23日	ながくてまち便り	おんぱく
8月30日	ニュース	ホール見学 SHOW
9月6日	ニュース	創造スタッフ小西祐矢個展
10月25日	ながくてまち便り	ながくてアートフェスティバル 2021
1月10日	まちびとキラリ	文化の家フレンズスタッフ
2月21日	ニュース	午後の佇み「歌曲で紡ぐ春への祈り 2」
3月14日	ニュース	近藤薫の音楽哲学

■ 新聞等掲載（2021年1月1日～2021年12月31日）（単位：件）

中日新聞社	朝日新聞社	毎日新聞社
34	19	3
読売新聞社	その他	合計
1	1	58
広告換算金額	36,073,740円	

■ 各種 SNS 活用による広報活動（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

1 公式 Twitter

アカウント名	@bunkanoie
フォロワー数（2022年3月31日時点）	2,071
投稿数（2021年度）	513

2 公式 Facebook ページ

URL	https://www.facebook.com/bunkanoie/
フォロワー数（2022年3月31日時点）	1,706
投稿数（2021年度）	304

3 長久手市文化の家 official YouTube チャンネル

URL	https://www.youtube.com/user/bunkanoie
フォロワー数（2022年3月31日時点）	175
投稿数（2021年度）	24

4 公式 Instagram

アカウント名	長久手市文化の家 (@bunkanoie)
フォロワー数（2022年3月31日時点）	175
投稿数（2021年度）	224

5 公式 LINE アカウント

アカウント名	長久手市文化の家
おともだち登録数（2022年3月31日時点）	175
配信回数（2021年度）	26